

2012年度  
(平成24年度)

# 重点政策

チャレンジふくやま 新たなる創造と飛躍



福山市食育推進計画イメージキャラクター  
「元気な福の山ファミリー」



環境イメージキャラクター  
「くわいちゃん」



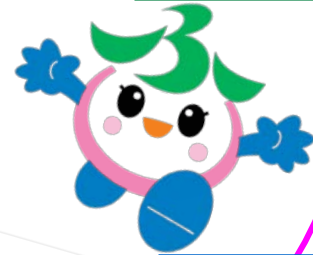
地産地消推進のシンボルマーク・  
ふくやま生まれ 「チッチ」



ばらのイメージキャラクター  
「ローラ」



福山うずみごほんの  
イメージキャラクター



健康ふくやま21  
イメージキャラクター  
「ふくっぴー」



福援隊キャラクター  
「鞍龍馬」

にぎわい しあわせ あふれる躍動都市 ～ばらのまち 福山～

## 福山市

## はじめに

今年は、本市のまちづくりの指針である第四次福山市総合計画の後期基本計画がスタートする年です。市制施行100周年に向け、まさに再始動する年となります。本市を取り巻く環境は、少子化・高齢化の更なる進行や、厳しい経済状況により市税の大幅な減収が予測されるなど厳しさを増していますが、「持続可能」をキーワードに、将来にわたって発展し続けるまちづくりを進めていきたいと考えています。

2012年度（平成24年度）においても、7つのキーワードの下、施策の選択と重点化を図る中、特に重点化して進める施策を位置付けています。福山独自の取組として全国に発信していく「福山発」の施策を始め、中心市街地の活性化など喫緊の課題に対応した施策や人口減少社会に対応できるよう、10年後、20年後の福山市を見据えた施策にも力を入れて取り組むこととしています。

市民の皆様との協働の下、2012年度（平成24年度）の重点政策に掲げる施策を中心に着実に取り組み、「いつまでも住み続けたい」と思える未来志向のまちづくりを力強く進めていきたいと考えています。

### <重点政策について>

重点政策は、新年度における主要な新規事業や拡充する事業等を基本に計上するものです。個別の事業期間や重点化を行う期間が終了した事業、重点政策として集中的に取り組んだ結果、一定の成果が挙がり、本市の施策として定着したものなどについては、重点政策から外れることとなります。したがって、重点政策の予算額は年度によって増減が生じます。

2012年度（平成24年度）では、34施策、約115億円を重点政策として取り組んでいくこととしています。前年度と比較すると、12施策の減となりましたが、市民病院の施設整備などの関係から事業費は約26億円の増となりました。

## 第四次福山市総合計画後期基本計画と重点政策との関係

2012年度(平成24年度)重点政策は、第四次福山市総合計画後期基本計画の各基本目標に沿ったものとなっています。

### だれもが安心して安全で快適に暮らせるまち (安心・安全・環境)

- 温暖化対策事業(スラムふくやま☆エコトライ) ○LED防犯灯整備事業
- 耕作放棄地対策事業 ○消防・救急体制の整備 ○水道施設の耐震化事業
- 下水道施設の耐震化事業 ○小・中学校の耐震補強等整備事業
- 橋りょう長寿命化事業 ○出原浄水場更新事業
- 歩道・自転車走行空間整備事業 ○交通施設バリアフリー設備整備事業

### 子どもが健やかに育ち、だれもが健康でいきいきと暮らせるまち (保健・福祉・医療)

- 買い物支援事業 ○青少年自立支援事業 ○生活保護受給者の自立支援
- (仮称)こども発達支援センター整備事業 ○病院施設整備事業
- (仮称)救急支援診療所整備事業

### 多様に学び、文化をはぐくむまち (教育・文化)

- 小中一貫教育推進事業 ○地域学習活動支援事業(土曜チャレンジ教室)
- 轄地区町並み保存 ○子ども・若者市政参画 ○グラウンド・ゴルフ場整備事業

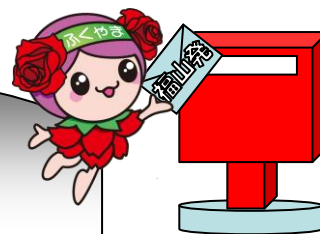
### 産業の力みなぎる活力とにぎわいのあるまち (活力・交流)

- 轄地区まちづくりの推進 ○中心市街地の魅力の創出
- 「福山らしさ」創出事業 ○大学連携事業 ○生活バス交通利用促進対策事業
- 地産地消推進事業 ○里山里地の再生・保全事業

### 市民とともにつくる自立したまち (協働・行革)

- 100万本のばらのまちづくり推進事業 ○協働のまちづくり推進事業
- (仮称)「福山市暮らしの便利帳」の発行 ○公共施設サービスの再構築
- 広域連携事業

# 2012年度（平成24年度） 「福山発」重点政策



「福山発」は、これまで、「協働」をベースに、全国に胸を張ることのできる施策として、精力的に取り組み、二酸化炭素排出量の削減など一定の成果をあげています。引き続き、市民との「協働」をまちづくりの柱とし、これまでの取組の成果をベースに、福山独自の取組として更に充実させるとともに、全国に発信し、備後の中核都市にふさわしい拠点性と求心力のある自主・自立のまちづくりを進めていきます。



ばらのイメージキャラクター  
「ローラ」

市民 民間 行政

## ○土曜チャレンジ教室

児童生徒が、地域のボランティア講師（退職教職員・大学生など）に教わりながら、「わかった、できた」と実感することで学習意欲を向上させ、計画を立てて学ぶ力を付けていきます。（P2）

**福山発**

## ○100万本のばらのまちづくり推進事業

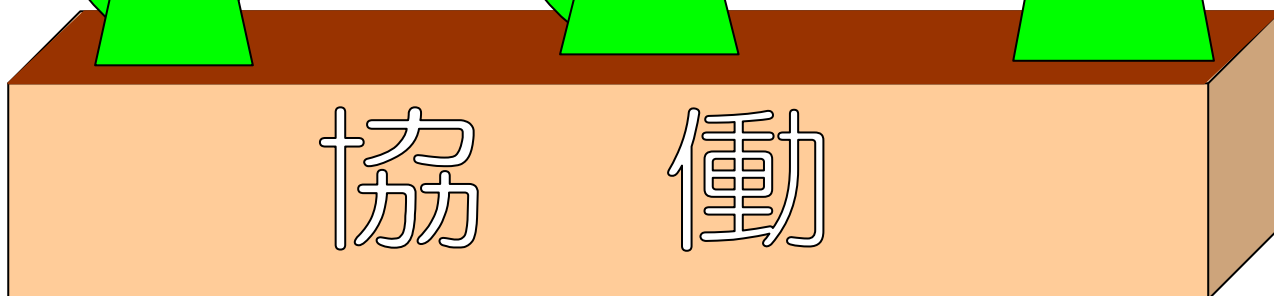
市制施行100周年に向け「ばらのアクションプラン」に基づき、市民との協働により「100万本のばらが咲き誇るまち福山」をめざします。（P14～15）

**福山発**

## ○島田荘司選 ばらのまち福山 ミステリー文学新人賞

文学賞を通じて福山市の知名度向上や地域文化の一層の活性化に取り組みます。（P12）

**福山発**



※「協働をベースに、市民・民間・行政が力を合わせて『福山発』の重点政策をはぐくみ、その成果を全国に発信していく」ことをイメージした図です。（「協働」を土壌、「市民・民間・行政の力」を水、「全国に発信」を手紙の絵で表しています）

## 2012年度(平成24年度)重点政策一覧(目次)

(単位:千円)

分野	柱立て	施策(事業)名	事業費	再掲分	再掲分を含む事業費	ページ
1 教育	学校教育の充実	①小中一貫教育推進事業	6,964		6,964	1
		地域学習活動支援事業(土曜チャレンジ教室)	2,948		2,948	2
	文化財の保護と活用	韮地区町並み保存	34,527		34,527	3
	青少年活動の充実	子ども・若者市政参画	555		555	4
	①スポーツの振興	①グラウンド・ゴルフ場整備事業	15,800		15,800	5
小計		5件	60,794			
2 環境	地球環境の保全	温暖化対策事業(スクラムふくやま☆エコトライ)	91,850	192,000	283,850	6
		LED防犯灯整備事業	192,000		192,000	8
	耕作放棄地の再生・活用	耕作放棄地対策事業	10,066		10,066	9
小計		3件	293,916			
3 活力	韮地区の再生・活性化	韮地区まちづくりの推進	68,136	109,727	177,863	10
	中心市街地活性化の推進	中心市街地の魅力の創出	31,137	15,725	46,862	11
	都市ブランドの創出と発信	「福山らしさ」創出事業	18,145		18,145	12
	市民の自立と参画	100万本のばらのまちづくり推進事業	28,669		28,669	14
		協働のまちづくり推進事業	12,214		12,214	16
		①(仮称)「福山市暮らしの便利帳」の発行	-		0	17
	①効率的・効果的な行政運営の推進	①公共施設サービスの再構築	-		0	18
	地域の活性化	広域連携事業	-		0	19
		大学連携事業	4,625		4,625	20
	公共交通サービスの充実	生活バス交通利用促進対策事業	41,750		41,750	21
	地産地消の推進	地産地消推進運動	12,793	10,066	22,859	22
	農業施策の推進	耕作放棄地対策事業(再掲)	-	10,066	10,066	24
①里山里地の再生・保全事業		39,325	10,066	49,391	25	
小計		12件	256,794			

分野	柱立て	施策(事業)名	事業費	再掲分	再掲分を含む事業費	ページ	
4 福祉	高齢者福祉の充実	⑧買い物支援事業	6,484		6,484	26	
	⑧社会参加に向けた自立支援	⑧青少年自立支援事業	935		935	27	
		⑧生活保護受給者の自立支援	14,566		14,566	28	
	子どもの発達支援の充実	(仮称)こども発達支援センター整備事業	64,321		64,321	29	
小計		4件	86,306				
5安心・安全	地域医療体制の充実	病院施設整備事業	7,319,000		7,319,000	30	
		(仮称)救急支援診療所整備事業	608,555		608,555	31	
	消防・救急体制の充実	消防・救急体制の整備	337,924		337,924	32	
	災害に強いまちづくり	水道施設の耐震化事業	37,050		37,050	33	
		下水道施設の耐震化事業	191,400		191,400	34	
		小・中学校の耐震補強等整備事業	1,137,700		1,137,700	35	
		橋りょう長寿命化事業	74,000		74,000	36	
	安心・安全な給水の確保	出原浄水場更新事業	769,599		769,599	37	
	市民の安全対策	歩道・自転車走行空間整備事業	185,000		185,000	38	
		交通施設バリアフリー設備整備事業	162,000		162,000	39	
		LED防犯灯整備事業(再掲)	-	192,000	192,000	40	
	小計		10件	10,822,228			
	合計		34件	11,520,038			

## 各ページの見方

### 「新規」「継続」について

重点政策として、「新規」か「継続」を記入しています。

### 「新規」

※2012年度（平成24年度）に初めて重点政策に計上される施策（事業）です。従来から実施している事業であっても、重点政策として初めて計上される場合は「新規」となります。

※また、これまでの継続事業に初めて取り組む事業を加え、内容を再編した施策（事業）は「新規」となります。

### 「継続」

※前年度に引き続き、重点政策として計上される施策（事業）です。

分野	柱立て	課
施策（事業）名		<input type="checkbox"/> 新規 ・ <input type="checkbox"/> 継続
計画期間	年度（平成 年度）～ 年度（平成 年度）	予算額 円 （再掲分 千円含む）

### 100周年事業

### 100周年事業

市制施行100周年に向けて取り組む重点事業

1 施策（事業）の目的（ねらい）

2 取り組むこと

### 新マーク

2012年度（平成24年度）から新たに加わった内容に<sup>新</sup>としています。

### これまでの主な取組内容

〔2010年度（平成22年度）〕

〔2011年度（平成23年度）〕（12月末現在）

施策（事業）名	小中一貫教育推進事業	■ 新規 ・ □ 継続
計画期間	2012年度(平成24年度)～2014年度(平成26年度)	予算額 6,964千円

1 施策（事業）の目的（ねらい）

暴力行為の低年齢化や学力課題の固定化、「中一ギャップ<sup>※</sup>」など、本市学校教育の課題を改善するため、中学校区単位で小中学校が更に連携を強めます。義務教育9年間を一体的に捉えた学年段階に応じた小中一貫カリキュラム（教育課程）を全中学校区で作成・実施することを通して、ばらと教育のまちをめざす「全国に誇れる学校教育」を実現します。

※中一ギャップ…小学校から中学校への進学という環境の変化への対応に伴い生じる課題

2 取り組むこと

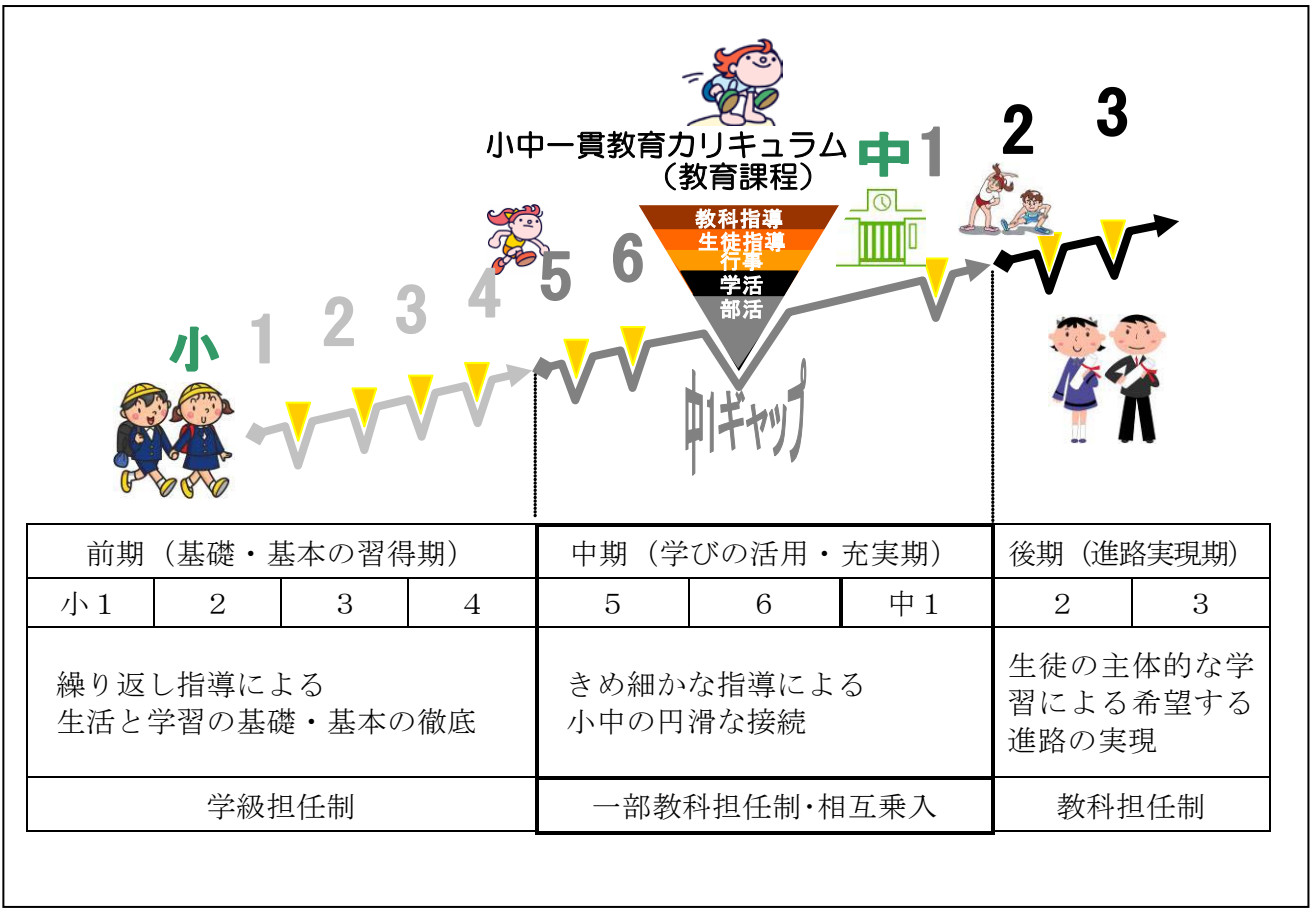
○小中一貫教育カリキュラム（教育課程）の作成・実施（6,572千円）

2015年度(平成27年度)からの小中一貫教育実施に向け、9年間を一体的に捉えたカリキュラム（教育課程）を作成し、試行的に実施します。

- (1) 対象 全中学校区の小中学校（中学校35校，小学校78校）
- (2) 期間 3年間（2012年度（平成24年度）～2014年度（平成26年度））
- (3) 内容 ①教科指導②生徒指導③行事・学活・部活から、各中学校区のこれまでの取組や特色を活かし、決定したもの

○小中一貫教育推進懇話会の開催（392千円）

教育に関し幅広い識見を有する方を委員とする懇話会を開催し、本市における小中一貫教育に関する基本方針などを検討します。





施策（事業）名	地域学習活動支援事業（土曜チャレンジ教室）	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2011 年度（平成 23 年度）～	予算額 2,948 千円

### 1 施策（事業）の目的（ねらい）

地域との協働により、学ぶことの楽しさや達成感を体得させながら学習意欲を向上させるとともに、児童生徒に主体的な学習の仕方を身につけさせることで学力の定着を図ります。

### 2 取り組むこと

#### ○土曜チャレンジ教室

退職教職員などの地域人材を活用し、児童生徒の苦手なことや分かりたいことについて、質問に答えたり説明したりしながら、学習の仕方を指導します。児童生徒は、支援を受けながら自学自習に取り組みます。

〔実施内容〕

- (1) 日 時 第 2・4 土曜日 9:00～11:00
- (2) 場 所 公民館等の公共施設
- (3) 対 象 小学校 5・6 年生 中学校 1 年生
- (4) 内 容 算数・数学、英語の基礎的な学習
- (5) 定 員 1 か所 30 人程度
- (6) 講 師 退職教職員等地域在住のボランティア



◇「わかった」「できた」を実感しよう！  
◇計画を立てて勉強する力をつけよう！



#### これまでの主な取組内容

〔2011 年度（平成 23 年度）〕（12 月末現在）

- ・7 中学校区に開設
- 児童生徒申込者数 177 名
- ボランティア講師 76 名
- ※退職教職員のほか、市立大学の学生や市の職員も含む

施策（事業）名	<b>鞆地区町並み保存</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2007 年度(平成 19 年度)～	予算額 34,527千円

### 1 施策（事業）の目的（ねらい）

古くから瀬戸内の要港として繁栄した港町・鞆には、江戸・明治期の伝統的建造物が数多く残り、歴史的町並みを形成しています。しかし、多くの建造物は老朽化が著しく、早急な保存整備が必要な状況にあります。

鞆町伝統的建造物群保存地区において、建造物などの保存整備を重点的に推進し、国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を目標に、歴史的景観の保全、地域の活性化に取り組みます。

### 2 取り組むこと

江戸時代から昭和戦前までの伝統的建造物である町家・土蔵などの修理事業や伝統的建造物以外の建物を歴史的景観に調和させる修景事業を実施するとともに、重要伝統的建造物群保存地区の選定に向け実施した補完調査をもとに、パンフレットを作成し、町並み保存の啓発に取り組みます。

また、伝統的建造物を活用し、町並み保存・情報センター機能を備えた施設の整備に向けて取り組みます。

※数値目標：町並み保存事業補助件数 6 件



【町並み保存地区】

#### これまでの主な取組内容

##### 〔2010 年度（平成 22 年度）〕

- ・修理 1 件, 応急処置 2 件, 修景 1 件(計 4 件), 補完調査を実施(2 か年)

##### 〔2011 年度（平成 23 年度）〕 (12 月末現在)

- ・修理 4 件, 応急処置 2 件(計 6 件), 補完調査を実施し, 報告書を作成中

施策（事業）名	子ども・若者市政参画	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2009 年度(平成 21 年度)～	予算額 5 5 5 千円

1 施策（事業）の目的（ねらい）

次代を担う世代に対して、広く市政に参画できる場を設け、ふるさと「福山」への誇りと愛着を深めることにより、まちづくりへの参画を積極的に推進します。

(※この事業は、2011 年度(平成 23 年度)重点政策「子ども市政参画事業」から施策(事業)名を変更しています。)

2 取り組むこと

○ふくやま子どもフェスティバルの充実（555千円）

実行委員会を充実し、協働で実施する体制を推進します。  
 また、子ども（子ども企画委員）が企画運営するコーナーを増やすことにより、創造力を生かした自主活動を推進します。  
 また、大学生をリーダーとする中高生のボランティアスタッフが、関係機関や支援団体と協働して活躍できる場を増やします。



【不要なおもちゃを持ち寄り交換する「かえっこバザール」の様子】

○高校生・大学生による市政参画の推進

・高校生・大学生を対象としたワークショップの開催

第四次福山市総合計画後期基本計画の具体化に向け高校生・大学生を対象にワークショップを開催します。実現可能な提案については、まちづくりに関する補助金などを活用し、提案者が主体となって実施できるよう支援します。

・協働のまちづくりフォーラムでの発表

積極的に地域活性化などに取り組んでいる大学生のサークル活動について、協働のまちづくりフォーラムで発表します。



【高校生ワークショップ】

これまでの主な取組内容

〔2010 年度（平成 22 年度）〕

- ・ふくやま子どもフェスティバル開催(11 月 3 日)

〔2011 年度（平成 23 年度）〕(12 月末現在)

- ・ふくやま子どもフェスティバル開催(11 月 3 日)
- 実行委員会形式で開催し、子ども企画委員が実行委員会へ参画

施策（事業）名	<b>グラウンド・ゴルフ場整備事業</b>	■ 新規 ・ □ 継続
計画期間	2012 年度(平成 24 年度)～	予算額 15,800千円

**1 施策（事業）の目的（ねらい）**

「いつでも、どこでも、気軽にスポーツに親しみ、楽しむことができる」という生涯スポーツの普及の観点から、市の遊休地などを活用してグラウンド・ゴルフ場を整備します。

**2 取り組むこと**

**○グラウンド・ゴルフ場整備**

芦田川緑地運動場の一部を有効活用し、市中央部地域にグラウンド・ゴルフコースを整備します。

**【事業概要】**

- ・整備場所：芦田川緑地運動場（山手町）
- ・施設面積：8,000 m<sup>2</sup>
- ・コース数：2 コース
- ・ホール数（1 コース分）：8 ホール（50・30・25・15m各 2 ホール）
- ・その他施設：ベンチ、トイレ



【グラウンド・ゴルフ風景】

施策（事業）名	温暖化対策事業(スクラムふくやま☆エコトライ)	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2011年度(平成23年度)～2020年度(平成32年度)	予算額 283,850千円 (再掲分 192,000千円含む)
<p><b>1 施策（事業）の目的（ねらい）</b> 地球温暖化は、地球上の遠いところで起きている問題ではなく、本市でも真夏日・熱帯夜の増加や海面水位の上昇など、着実に影響が及びつつあるとても身近な問題です。 地球温暖化防止のため、福山市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づき、協働をベースに「家庭・地域・学校」や「事業者」「行政」が一体となって、自分にできることから取り組みます。</p> <p><b>2 取り組むこと</b> ※温室効果ガス削減目標：2020年度(平成32年度)までに2007年度(平成19年度)比で40%削減</p> <p>○地球にやさしい生活様式の定着（4,880千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくやまエコファミリー認定事業・・・家庭における省エネルギーを促進します。</li> <li>・環境学習推進校事業 環境教育・環境学習に積極的に取り組む小中学校を指定し、環境学習をより一層推進します。</li> <li>・「エコネットワークふくやま」事業 市民、事業者、行政が連携し、環境にやさしい行動を促進します。</li> <li>・㊦市民環境活動推進事業費補助・・・市民団体などの温暖化防止活動を支援します。</li> </ul> <p>○環境負荷の少ない事業活動の促進（2,700千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境負荷の少ない事業活動を促す環境マネジメントシステム（ISO14001,エコアクション21,㊦グリーン経営認証）を新規認証取得する中小事業者などを支援します。</li> <li>・エコドライブ普及事業 エコドライブ講習を実施し、環境負荷の少ない運転技術の普及啓発を行います。</li> </ul> <p>○エネルギーの効率的な利用の促進（192,338千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑のカーテン啓発事業 家庭、事業所における緑のカーテン（つる性植物による壁面緑化）の取組を促進します。</li> <li>・LED防犯灯整備事業（※再掲）</li> </ul> <p>○再生可能エネルギー等の普及促進（76,600千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・㊦次世代エネルギーパーク啓発事業 次世代エネルギーパークの認定を機に、太陽光発電システムなどの普及啓発を行います。</li> <li>・太陽エネルギー導入促進事業 住宅用太陽光発電システム設置費補助 1件当たり5万円ほか</li> </ul> <p>○低炭素まちづくりの推進・吸収源対策の推進（7,332千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノーマイカー運動（ベスト運動）を推進します。</li> </ul>		
<p><b>これまでの主な取組内容</b></p> <p>〔2010年度（平成22年度）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコファミリー認定 1,626世帯</li> <li>・ISO14001・エコアクション21取得 14件</li> <li>・太陽光発電システム設置 1,686件ほか</li> <li>・ベスト運動会員数 16,900人 など</li> </ul> <p>〔2011年度（平成23年度）〕（12月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコファミリー認定 2,214世帯（うち小学生を対象のジュニア版 130世帯含む）</li> <li>・ISO14001・エコアクション21取得 5件</li> <li>・緑のカーテン取組 216世帯 11事業所</li> <li>・太陽光発電システム設置 1,170件ほか</li> <li>・ベスト運動会員数 17,800人 など</li> </ul>		



# 協働

## 関連事業との連携

- ベスト運動の推進  
備後圏で2万人(2012(平成24)年度)
- 公共交通の利用促進による交通渋滞の緩和



【ベスト運動】

## 家庭・地域・学校における取組

- ふくやまエコファミリー認定  
2,500世帯
- 環境学習推進校 10校
- 「エコネットワークふくやま」事業
- 市民環境活動推進事業費補助
- 緑のカーテン啓発事業 230世帯
- 太陽エネルギー導入促進事業  
住宅用太陽光発電ほか
- 自転車利用の促進

など

**2020年度  
(平成32年度)**

**CO<sub>2</sub>  
40%削減**

主な取組例

- ・レジ袋1枚削減で48g削減
- ・木を1本植えたら3kg削減
- ・ベスト運動1回参加して56kg削減



【緑のカーテン啓発事業】

## 行政の取組

- ISO14001の推進
- 関係機関へ温暖化防止活動実施の啓発
- LED防犯灯整備事業(\*再掲)  
約32,000灯
- 次世代エネルギーパーク啓発事業
- 自転車利用の促進(職員によるエコ通勤, 公用自転車の利用促進)
- 緑化推進のための苗木配布
- レンタサイクル利用の促進

## 事業者・団体への支援

- ISO14001・エコアクション21  
・グリーン経営認証の認証取得  
費補助 19事業者
- エコドライブ普及事業
- 緑のカーテン啓発事業  
20事業所



【福山市次世代エネルギーパーク】



【エコドライブ普及事業】

次世代エネルギーパークとは…

資源エネルギー庁が、新エネルギーについて国民の理解の増進を図るため、太陽光発電等の設備を有する地域を認定。(中国地方では5件目)

施策（事業）名	<b>LED防犯灯整備事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2011年度(平成23年度)～2013年度(平成25年度)	予算額 192,000千円

**1 施策（事業）の目的（ねらい）**

地域の安心・安全のために自治会などが設置・維持管理している防犯灯を省エネで長寿命が特長であるLED灯にすべて切り替えることにより、発電する際に発生する温室効果ガス（二酸化炭素）を抑制するとともに、維持管理に係る経費の削減を図ります。

引き続き、市民との役割分担をする中で、地球温暖化対策と地域の夜間通行の安心・安全を推進します。

**2 取り組むこと**

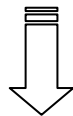
市内に設置している20W蛍光灯の防犯灯を3年間で、すべてLED灯の防犯灯に切り替えます。

- ・エネルギーの効率的な利用を促進します。
- ・すべての防犯灯を更新することで、より一層地域の夜間通行の安心・安全を確保します。

**3年間で切り替える防犯灯の数 約32,000灯**

◎蛍光灯の使用による1灯あたりの年間発生CO<sub>2</sub>排出量は  
⇒ 50.42kg

◎LED灯の使用による1灯あたりの年間発生CO<sub>2</sub>排出量は



**22.46kg**



**1年間で削減できる**

**1灯あたりのCO<sub>2</sub>排出量 27.96kg**

**2014年度(平成26年度)には、  
市内の防犯灯の全部で・・・**

**およそ900トン削減(1年間)**

[2009年度(平成21年度)電気事業者別実排出係数により算出

(2010年(平成22年)12月環境省発表値)]

**これまでの主な取組内容**

[2010年度(平成22年度)]

- ・自治会等別防犯灯実態調査(市内全域)

[2011年度(平成23年度)](12月末現在)

- ・設置灯数 7,400灯

施策（事業）名	<b>耕作放棄地対策事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2009 年度(平成 21 年度)～2013 年度(平成 25 年度)	予算額 10,066 千円

**1 施策（事業）の目的（ねらい）**

耕作放棄地の再生・発生防止を図り，食料供給を始め，水源涵養，洪水防止，景観形成など，農地の持つ多面的機能を最大限に発揮させることにより，食料自給力を高め，豊かな自然景観に囲まれた安心・安全で快適な生活環境を確保します。

（※この事業は，2011年度(平成23年度)重点政策「耕作放棄地再生活用モデル地区支援事業」から施策(事業)名を変更しています。）

**2 取り組むこと**

**(1) 耕作放棄地再生活用モデル事業（7,000千円）**

地域団体やNPOなどが取り組む耕作放棄地の再生・活用事業を支援し，再び荒廃することのないよう農地としての利用を定着させます。

○補助対象者…モデル地区の指定を受けた協議会

○補助対象事業

- ・耕作放棄地再生事業…除草，障害物除去，深耕，水路・農道等の簡易改修 など
- ・耕作放棄地活用事業…営農再開，学校農園，体験農園，市民農園，景観作物の植栽 など



【耕作放棄地を再生活用して市民農園を開設(上戸手8地区)】

**(2) 耕作放棄地発生防止事業**

耕作放棄地や遊休農地を所有する農家等へ自走式草刈機を無償貸与するなど，良好な環境整備と農業生産基盤の維持・保全を推進します。また，農地の利用意向の聞き取りを行い，貸借候補地として新規就農者や担い手研修生等に紹介するなど，耕作放棄地の発生防止を図ります。

**(3) 農業体験型農園等設置推進事業（1,000千円）**

遊休農地を活用した農業体験農園などの施設整備（休憩所・農機具倉庫・駐車場・灌水施設等）にかかる負担を軽減することで，耕作放棄地の発生防止に加え，地域活性化を図ります。

○補助対象者…農業者（地権者も含む），法人，団体等

**(4) 耕作放棄地実態把握調査（2,066千円）**

耕作放棄地の実態を把握するための農業委員による農地利用状況調査を実施し，耕作放棄地の再生・活用を効率的に推進します。

※数値目標：耕作放棄地解消モデル地区指定数

13地区(2010年度(平成22年度))→30地区(2015年度(平成27年度))

※数値目標：市民農園設置数

61か所(2010年度(平成22年度))→70か所(2015年度(平成27年度))

**これまでの主な取組内容**

**[2010 年度（平成 22 年度）]**

- ・前年度モデル地区の指定を受けた8地区のうち，7地区の耕作放棄地解消協議会が実施する再生・活用事業の支援
- ・上戸手8(新市町戸手)・田尻西下(田尻町)・山野大原(山野町)・服部本郷(駅家町服部)・藤江新涯(藤江町)の5地区をモデル地区指定

**[2011 年度（平成 23 年度）] (12月末現在)**

- ・前年度までにモデル地区の指定を受けた13地区のうち，9地区の耕作放棄地解消協議会が実施する再生・活用事業の支援
- ・下加茂(加茂町)・寺迫(熊野町)・田島南(内海町)・東村(東村町)・三谷(神辺町)の5地区をモデル地区指定



施策（事業）名	<b>鞆地区まちづくりの推進</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2005 年度(平成 17 年度)～	予算額 1 7 7, 8 6 3 千円 (再掲分 1 0 9, 7 2 7 千円含む)

**1 施策（事業）の目的（ねらい）**

鞆地区の総合的なまちづくりの観点から、地域との協働により、歴史や文化と地域社会が調和し、安全で快適な生活環境と活力ある鞆地区の実現を図ります。

**2 取り組むこと**

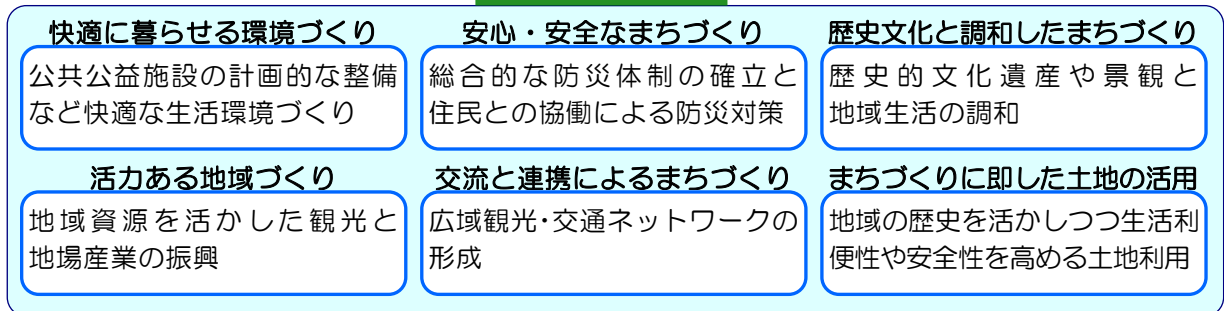
○鞆地区まちづくり推進事業の促進（5, 000千円）

鞆に暮らす生活者の視点に立ち、地域と行政との協働により、鞆地区の再生・活性化に向けたまちづくりを進めるため、公共施設等のあり方を始めとした具体的な考え方を整理します。（「鞆地区まちづくり整備方針（素案）」との整合を図る。）

**まちづくりの目標**

**安全で快適な生活環境の整備 歴史・文化と地域生活の調和 活力ある地域社会の構築**

**まちづくりの方針**



○鞆地区道路港湾整備事業の推進（49, 536千円）

鞆地区が抱える様々な課題を抜本的に改善し、鞆町が有する歴史的景観や自然環境との調和を図りながら、県道、フェリーふ頭用地、駐車場用地、漁業施設用地などを埋立てや架橋により一体的に整備します。

○市営渡船場待合室改修（13, 600千円）

観光振興や地域活性化を図るため、市営渡船場2階待合室を眺望を活かした観光客や地元住民の憩いの場として改修します。

○鞆地区町並み保存（34, 527千円）（※再掲）

町並みの修理・修景や町並み保存の啓発に努めるとともに、町並み保存・情報センター機能を備えた施設の整備に向けて取り組みます。

○南消防署鞆出張所改築事業（75, 200千円）（※再掲）

南消防署鞆出張所の改築に向けた用地取得、実施設計等を行います。

**これまでの主な取組内容**

**〔2010 年度（平成 22 年度）〕**

- ・広島県の主催により、鞆地区地域振興住民協議会が開催されたことから、その行方を注視しつつ整備方針の成案化準備
- ・鞆地区道路港湾整備事業に係る公有水面埋立免許申請は審査中(大臣承認申請中)

**〔2011 年度（平成 23 年度）〕（12 月末現在）**

- ・鞆地区地域振興住民協議会などをめぐる情勢に注視しつつ、整備方針の成案化に備えている。

分野：活力 柱立て：中心市街地活性化の推進

経済環境局経済部商工課 建設局都市部都市整備課 都市交通課

施策（事業）名	中心市街地の魅力の創出	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	1999 年度(平成 11 年度)～	予算額 46,862 千円 (再掲分 15,725 千円含む)

1 施策（事業）の目的（ねらい）

複合的な都市機能の集積やアクセス性と回遊性を高める交通環境の改善・強化に取り組むとともに、「ばらのまち福山」をイメージした施設などの整備を行います。また、福山駅周辺地区中心市街地の活性化に関する基本方針に基づき、備後都市圏の玄関口にふさわしい魅力とにぎわいのある交流拠点を形成することにより、中心市街地の活性化を図ります。

(※この事業は、2011 年度(平成 23 年度)重点政策「福山駅周辺整備事業」から施策(事業)名を変更しています。)

2 取り組むこと

○福山駅周辺整備事業

・福山駅箕島線整備事業（25,100 千円）

「ばらのまち福山」にふさわしい景観となるよう、福山駅前広場と一体的に整備します。  
(ばら花壇整備など(※一部再掲 15,070 千円))

・伏見町地区市街地再開発事業（12,235 千円）

敷地が細分化され低層で老朽化した現況建築物を除却し、防災機能を強化するとともに、商業・娯楽・業務施設や都心型住宅などの整備を促進します。

(事業者へのコンサルタント派遣(事業計画案の策定支援等))

・**三之丸自転車等駐車場整備事業（3,872 千円）**

路上放置自転車の削減を図り、歩行者と自転車が安全・安心に通行できるよう自転車等駐車場を整備します。

○**中心市街地賑わい創出活動支援事業（5,000 千円）**

中心市街地の活性化のため、市民、商業者、NPO等が連携する推進母体を設置し、市民などが主体的に実施する新たな賑わい創出活動の構築を推進します。

○**産学官連携調査研究事業（福山駅周辺地区中心市街地の活性化）（655 千円）（※再掲）**

福山市立大学と連携し、市民等を対象とした福山市の都市イメージの把握や市民ニーズ調査など中心市街地のまちづくりに関する基礎調査を実施します。

※数値目標

・福山駅周辺の休日の歩行者通行量

2011 年度（平成 23 年度）120,584 人⇒2016 年度（平成 28 年度）130,000 人

・中心市街地の居住人口

2010 年度（平成 22 年度）15,993 人⇒2016 年度（平成 28 年度）16,500 人



ばら花壇を整備する  
ines FUKUYAMA(アイネスフクヤマ)の  
東側歩道



自転車等駐車場を整備する  
三之丸駐車場

これまでの主な取組内容

〔2010 年度（平成 22 年度）〕

- ・福山駅前広場:地下送迎場整備
- ・伏見町地区市街地再開発事業 新コーディネーターの選定,基本構想検討委員会の開催
- ・東桜町地区市街地再開発事業 本体建築工事

〔2011 年度（平成 23 年度）〕(12 月末現在)

- ・福山駅前広場:地下送迎場供用開始(7 月),地上部整備(2012 年(平成 24 年)3 月末完成)
- ・伏見町地区市街地再開発事業 基本計画案の作成

施策（事業）名	「福山らしさ」創出事業	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2007 年度(平成 19 年度)～	予算額 18,145 千円

1 施策（事業）の目的（ねらい）

都市の活力や持続的な発展は、その都市が持つブランド力や都市イメージにかかっています。そのため、地域資源の掘り起こしや効果的な情報発信を行うことにより、多くの人を訪れる全国に知られるまちになるよう、市民とともに知名度向上につながる取組を展開します。

2 取り組むこと

○島田荘司選 ばらのまち福山ミステリー文学新人賞事業（5,000千円）

ミステリー文学界に新風を送り、地域文化の一層の充実と本市の知名度向上をめざし、全国へ発信していきます。

- ・長編ミステリー（400字詰原稿用紙350～800枚）作品を募集
- ・正賞：トロフィー（福山市出身の榮久庵憲司さんがデザイン）  
副賞：協力出版社（講談社・光文社・原書房）のいずれかから受賞作品出版
- ・関連事業開催などによるPR

※数値目標：第5回応募作品数 65作以上



【第4回受賞作発表記者会見】

○福山の歴史・文化等啓発事業（8,570千円）

全国に誇れる郷土の歴史上重要な人物などにまつわるまんが「福山を知ローゼ」を通して、児童が福山の歴史に触れることで、郷土への愛着を深め、誇りを持ってもらう機会をつくります。

- ・「福山を知ローゼ 阿部正弘」作画製本  
2011年度（平成23年度）に制作した原作をもとに、作画から印刷製本を行ない、小学校5・6年生の各学級や特別支援学級などへ配布します。
- ・第2作の原作制作  
2013年度（平成25年度）に小学校5・6年生の各学級や特別支援学級などへ配布できるよう、第2作の企画立案から原作制作を行います。

## ○食のブランド化事業（４，１６５千円）

市制施行 95 周年を記念し、福山発の食ブランドとして創出した「福山うずみごはん」が、市制施行 100 周年に向けて市内外から愛される料理として定着するよう、プロモーション活動を支援します。

- ・福山食ブランド創出市民会議ホームページによる情報発信
- ・グルメフェスタなどにおける市内外への PR
- ・うずみ弁当の開発 など



【福山グルメフェスタ】



【福山うずみごはん】



## ○市民サポーターによる魅力発信（４１０千円）

- ・「広報ふくやま」サポーター制度の創設

市民サポーター（公募）が「広報ふくやま」で本市の魅力を紹介することにより、市民の市政への関心を深め、郷土愛の醸成につなげます。

- ・シティプロモーションポスター作成事業

都市宣伝ポスターを制作し、市民が推奨する名所・食・特産品・行事など、本市の魅力ある地域資源を積極的に発信します。

### これまでの主な取組内容

#### 〔2010 年度（平成 22 年度）〕

- ・福山ミステリー文学新人賞優秀作「少女たちの羅針盤」の映画化に伴うロケ支援、制作費補助、広報活動の実施
- ・福山食ブランド創出市民会議による料理の研究開発・試食会、講演会の実施、「うずみ」を福山の食ブランドとして提言
- ・第 3 回募集（応募数 59 作）、選考、受賞作発表、関連事業「龍馬・軈の浦ミステリー探検'10」実施

#### 〔2011 年度（平成 23 年度）〕（12 月末現在）

- ・映画「少女たちの羅針盤」の全国公開
- ・市制施行 95 周年記念式典において福山発の食ブランド「福山うずみごはん」発表、ホームページの開設、うずみ弁当開発、福山グルメフェスタ 2011 開催、イメージキャラクター公募・「うずみちゃん」発表、「開運！福山うずみごはんマップ」作成
- ・第 3 回受賞作出版（原書房）・ホームページリニューアル、第 3 回優秀作出版（講談社・光文社）・第 4 回募集（応募数 65 作）、選考、受賞作発表
- ・まんが「福山を知ろぜ」制作委員会設置・開催、原作制作、「まんが物語 福山の歴史」（改訂版）を小学校 5・6 年生の各学級及び特別支援学級へ配布

施策（事業）名	<b>100万本のばらのまちづくり推進事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2007 年度(平成 19 年度)～	予算額 28,669 千円

**100周年事業** 2016 年度(平成 28 年度)に「100万本のばらのまち 福山」を実現します

1 施策（事業）の目的（ねらい）

「ばらのアクションプラン～みんなの「ばら」100万本プロジェクト～」に基づき、市民や各種団体、事業者、行政が連携し、「ばらが咲き誇るまち」をめざすとともに、「ばらのまち福山」を市内外にアピールし、100万本のばらのまちの実現に向け取り組みます。

（※この事業は、2011 年度(平成 23 年度)重点政策「ばらのまちづくり推進事業」から施策(事業)名を変更しています。）

2 取り組むこと

○新たな名所、拠点となる場所の創出プロジェクト（21,402 千円）

- ・駅前大通りや駅家公園にばら花壇を整備します。
- ・幼少期からばらと触れ合えるよう、教育施設にばら花壇を整備します。
- ・地域団体などによるばら花壇の整備に対して経費の一部を助成します。
- ・福山駅からばら公園まで、ばらを楽しみながら歩ける道「(仮称)ばらのシンボルロード」の整備に向け検討します。

○全市を挙げてみんなで取り組むプロジェクト（6,507 千円）

- ・市内小学校の新一年生に対し、入学記念に一人一鉢の「ミニばら苗」をプレゼントします。
- ・ばらの栽培に熱意のある市民や団体、新築住宅を購入された方へばら苗を配布します。

○ばらの植栽サポートプロジェクト（760 千円）

- ・市内各地域のばら栽培のリーダー養成を目的に「福山ばら大学（第三期）」を開講します。
- ・地域ばら花壇を管理している団体に対する支援として、ばら栽培用の肥料を配布します。

○花だけじゃない！！ばらのアピールプロジェクト

ばらのまち福山イメージキャラクター「ローラ」が、市内の様々なイベントや全国のキャラクターが集まるイベントに登場し、「ばらのまち福山」を全国にアピールします。



【ばらのイメージキャラクター「ローラ」】



【福山ばら大学講座風景】



【学校ばら花壇整備事業】

これまでの主な取組内容

〔2010 年度（平成 22 年度）〕

- ・ばら苗配布事業の実施 ・福山ばら大学(第一期)の開講(延べ 643 人受講) ・学校ばら花壇の整備(20 か所)
- ・駅前大通りへのプランターの設置 ・ばらのイメージキャラクター「ローラ」の創出

〔2011 年度（平成 23 年度）〕(12 月末現在)

- ・ばら苗配布事業の実施 ・ばら制定都市会議(ばらサミット)の開催(5 月)
- ・学校ばら花壇整備(23 か所) ・福山ばら大学(第二期)の開講(延べ 352 人受講) ・入学記念ミニばら苗配布

# ばらのまち 福山

「ばらのアクションプラン～みんなの「ばら」100万本プロジェクト～」に沿った取組や、「ばらのまち 福山」のイメージアップにつながる取組を行います。



## 新たな名所、拠点となる場所の創出プロジェクト

- ・駅前大通りへのばら花壇整備事業
- ・駅家公園ばら花壇の再整備事業
- ・教育施設へのばら花壇創出事業
- ・協働のばら花壇整備事業
- ・「（仮称）ばらのシンボルロード」の整備に向けた検討



## 全市を挙げてみんなで取り組むプロジェクト

- ・入学記念ばら苗配布事業
- ・協働のばらのまちづくり事業
- ・ばら苗配布事業

64  
万本

2011年  
（平成23年）  
3月31日現在

100  
万本

2016年度  
（平成28年度）

協働のまちづくり



## ばらの植栽サポートプロジェクト

- ・福山ばら大学の開講
- ・地域ばら花壇補助制度



## 花だけじゃない!!ばらのアピールプロジェクト

- ・ばらのイメージキャラクター「ローラ」を活用した「ばらのまち 福山」のPR

施策（事業）名	<b>協働のまちづくり推進事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2005 年度(平成 17 年度)～	予算額 12,214 千円

**1 施策（事業）の目的（ねらい）**

「第二次協働のまちづくり行動計画」に基づき、「住民自治」が確立され、市民一人ひとりが各地域で「まちづくりの主役」として、協力し合い、いきいき活躍できるまちの実現をめざします。

**2 取り組むこと**

○「地域まちづくり計画」推進事業（8,876千円）

学区（町）まちづくり推進委員会において、地域住民が自分たちの地域の課題や将来像（ビジョン）などをまとめた「地域まちづくり計画」の作成に取り組みます。

※数値目標：「地域まちづくり計画」策定学区数・・・12学区

○協働のまちづくり人材育成事業（2,118千円）

地域の持つ可能性や潜在能力を引き出し、魅力あるまちづくりを進めるため、まちづくりに対する市民の意識を高め、地域活動や市民活動に積極的に取り組める人材の育成を行います。

○「(仮称)まちづくりサポートセンター」設立事業（1,220千円）

ボランティア・NPOなどに関する情報の集約や各種団体の連携窓口として、連絡調整や参画の場の提供などを行う「(仮称)まちづくりサポートセンター」の設立に向けた検討を行います。



【まちづくり座談会（ワークショップ）の様子】



【協働のまちづくりフォーラムの様子】

**これまでの主な取組内容**

**〔2010 年度（平成 22 年度）〕**

- ・地域まちづくり推進事業、提案型事業による地域の特色やボランティア・NPO などのノウハウを生かした市民主体の事業の実施
- ・協働のまちづくりフォーラムの開催(内容:市内のボランティア・NPOの活動紹介, 基調講演, 参加者数:250 人)
- ・リーダー養成講座の開催(全 2 回開催, 参加者数:361 人)・まちづくりパスポート事業(15,833 冊配布, 参加人数 18,748 人)
- ・生涯学習センター別研修会の開催(全 6 回開催, 参加者数:798 人)

**〔2011 年度（平成 23 年度）〕 (12 月末現在)**

- ・地域まちづくり推進事業、提案型事業による地域の特色やボランティア・NPO などのノウハウを生かした市民主体の事業の実施
- ・協働のまちづくりフォーラムの開催(内容:基調講演, 参加者によるワークショップ, 参加者数:80 人)
- ・まちづくりパスポート事業(9,359 冊配布, 参加人数 14,546 人(9 月末現在))
- ・生涯学習センター別研修会の開催(4 回開催, 参加者数:357 人)

施策（事業）名	（仮称）「福山市暮らしの便利帳」の発行	■ 新規 ・ □ 継続
計画期間	2012 年度(平成 24 年度)～	予算額 ー 千円

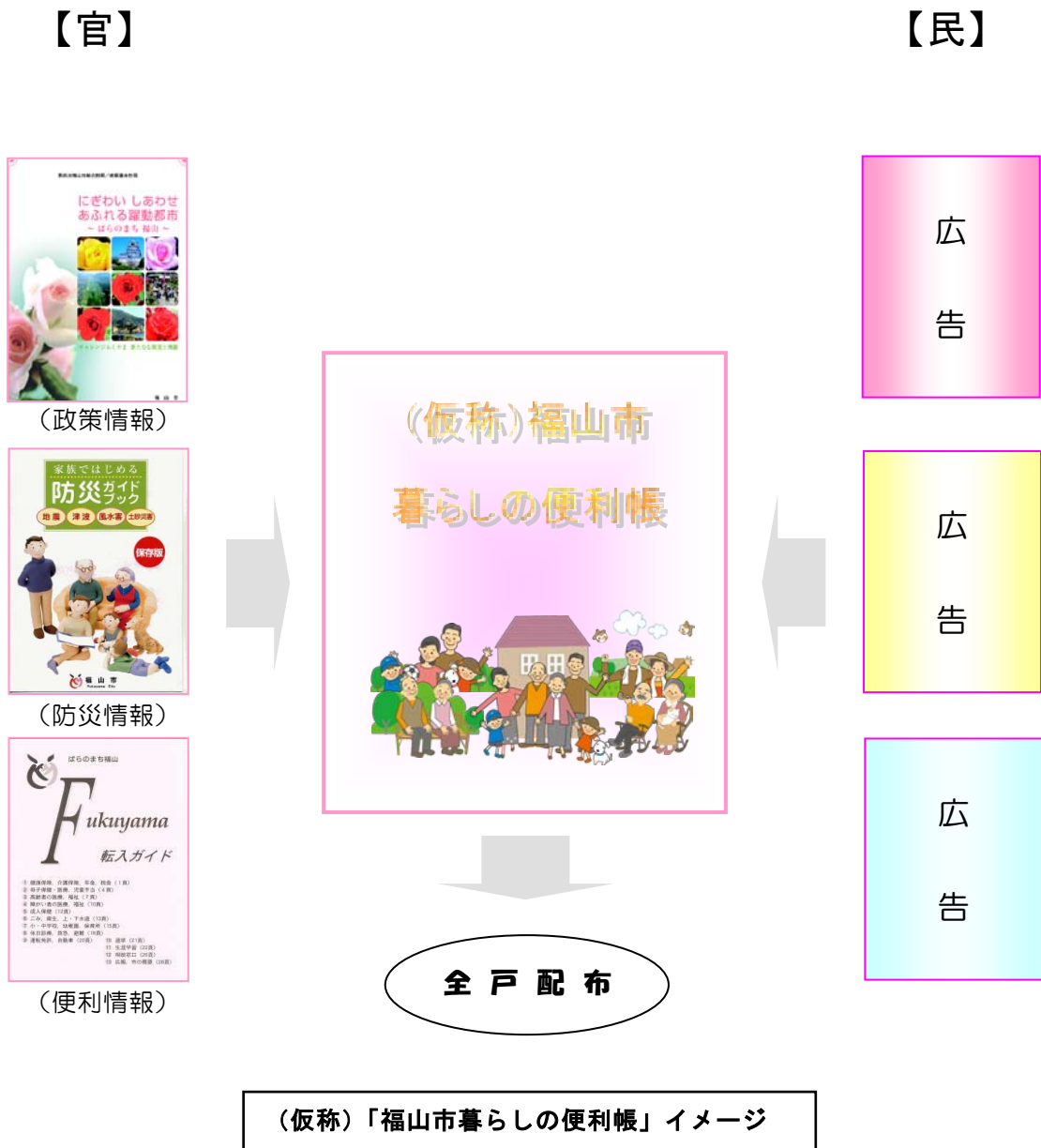
1 施策（事業）の目的（ねらい）

市の政策や方針を身近に感じ、市民一人ひとりが「まちづくりの主役」として活躍できるよう、また、市民サービスの向上に向けて、市の政策と市民生活に役立つ便利情報をまとめた行政情報誌を発行します。

2 取り組むこと

○（仮称）「福山市暮らしの便利帳」の発行及び全戸配布

「民」と「官」の協働により、行政情報と民間広告を掲載した財政負担を伴わない行政情報誌（仮称）「福山市暮らしの便利帳」を発行、全戸配布します。（隔年度発行予定）





施策（事業）名	公共施設サービスの再構築	■ 新規 ・ □ 継続
計画期間	2011 年度(平成 23 年度)～	予算額 ー 千円

**1 施策（事業）の目的（ねらい）**

本市の公共施設は、人口の急増に伴い、1970 年代から増加しており、改修や建替えが一時期に集中することになります。少子化・高齢化や人口減少の進行に伴い、公共施設に対する行政需要は変化しており、財政状況も社会保障費の増加などにより厳しい状況となっています。このため、健全で持続可能な行政運営を行うため、変化する社会構造や行政需要に適応した効率的・効果的な公共施設サービスの再構築に取り組みます。

**2 取り組むこと**

施設の実態に応じて、公共施設サービス全体の最適化を図り、再構築に取り組みます。

○取組の視点

- (1) 長寿命化，延命化
- (2) 施設の効率的，効果的な活用  
利活用の促進，管理運営コストの適正化，運営主体の検討等
- (3) 適正配置  
複合化，統廃合，遊休施設の売却等

○基本方針の策定

公共施設の情報を一元的に管理・分析するとともに、公共施設サービスの再構築に向けた基本方針を策定します。

○計画の策定

地域ごとの配置や必要な機能などを総合的に勘案し、公共施設サービス再構築に関する計画を策定します。

**これまでの主な取組内容**

〔2011 年度（平成 23 年度）〕（12 月末現在）

- ・小・中学校の屋内運動場・校舎の耐震補強改修工事
- ・公共施設への太陽光発電設備の整備

施策（事業）名	<b>広域連携事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2011 年度(平成 23 年度)～	予算額 ー 千円

1 施策（事業）の目的（ねらい）

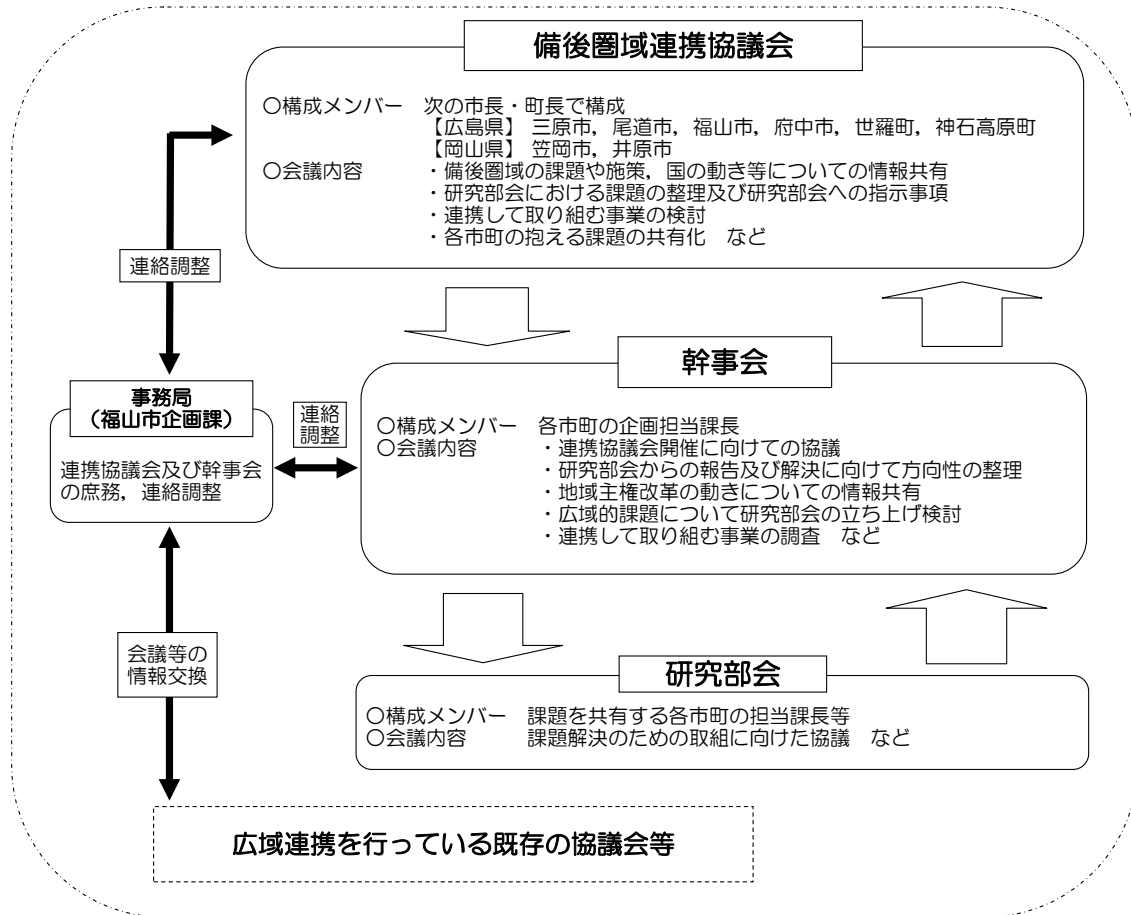
平成の合併により、中国・四国地方有数の都市となり、50万都市としての基盤整備も着実に整いつつありますが、急速な少子化・高齢化が進む中、人口の減少とともに高齢者人口の増加が見込まれます。このような状況において、備後地域の中核都市として、拠点性と求心力を持ったまちづくりを進めるとともに、圏域全体の一体的発展が可能となるよう、広域的な課題について自治体間で連携して取り組みます。

2 取り組むこと

○備後圏域連携協議会の運営

2011年(平成23年)12月に設立した協議会の研究部会を立ち上げ、広域的な課題の解決に向け取り組みます。

○備後圏域連携協議会



これまでの主な取組内容

- [2011 年度（平成 23 年度）] (12 月末現在)
- ・(仮称)備後圏域連携協議会 事務担当者会議の開催(9月・11月)
  - ・(仮称)備後圏域連携協議会 副市長・副町長会議の開催(11月)
  - ・備後圏域連携協議会の設立(12月)

施策（事業）名	<b>大学連携事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2011 年度(平成 23 年度)～	予算額 4,625 千円

1 施策（事業）の目的（ねらい）

市内の大学間の連携を強化し、地域と一体となった人材の育成などを推進します。また、企業、大学、行政の連携を更に進めることで、地元企業の研究能力・経営能力の向上や新事業の創出などにつなげ、地域産業の活性化を図り、活力あるまちづくりを進めます。

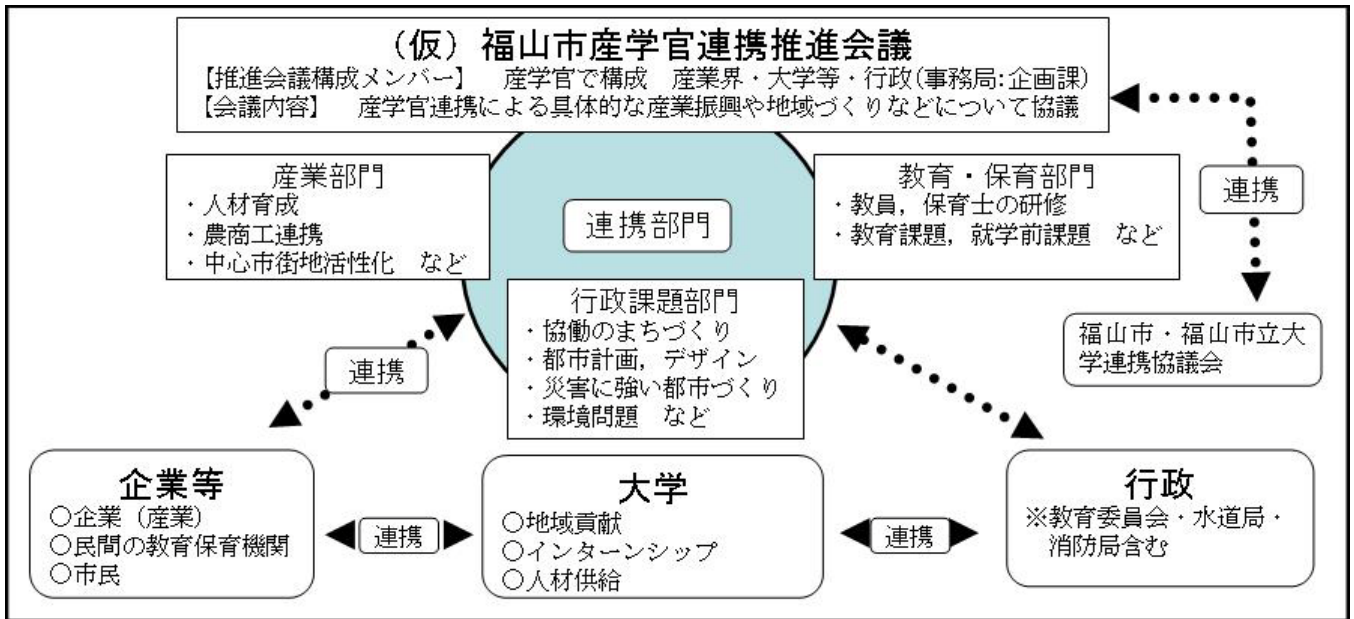
2 取り組むこと

○●市立大学との連携事業の実施（2,957千円）

「福山駅周辺地区中心市街地の活性化」「災害に強い都市づくり」「協働に関わる実態の把握」「福山市の保幼小連携に関する研究」「福山市における子どもの生活実態調査」「発達障がい児の事例検討を通じた研修」の6テーマについて共同で調査・研究に取り組みます。

○●（仮称）福山市産学官連携推進会議の立ち上げ（189千円）

産業界や市内の大学などと連携し、産学官連携を一体的に推進する、（仮称）福山市産学官連携推進会議を立ち上げます。



○●産学官連携シンポジウムの開催（379千円）

地域社会の発展をテーマとしたシンポジウムを開催し、意見交換などを行います。

○産学官連携人材育成事業（1,100千円）

産業界、大学、行政・産業支援機関が組織の垣根を越えたネットワークを構築し、企業の求める人材育成ニーズに応じていきます。また、企業への移転・活用が可能な研究・技術シーズの紹介、産学官の交流の場を設けることにより、企業の新技術開発や産学共同研究の契機を創出します。

- ・産学官で構成するネットワーク会議の開催
- ・人材育成などに関する情報発信事業、セミナーの開催
- ・大学などの研究成果の発表
- ・企業が抱える経営的・技術的課題の把握

これまでの主な取組内容

〔2011 年度（平成 23 年度）〕（12 月末現在）

- ・福山市・福山市立大学連携協議会の立ち上げ・開催(7月・9月・10月)
- ・第1回びんご産学官人材育成等ネットワーク会議開催(8月)
- ・ニーズ把握のための企業ヒアリング(25社)

施策（事業）名	<b>生活バス交通利用促進対策事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2006 年度(平成 18 年度)～	予算額 4 1, 7 5 0 千円

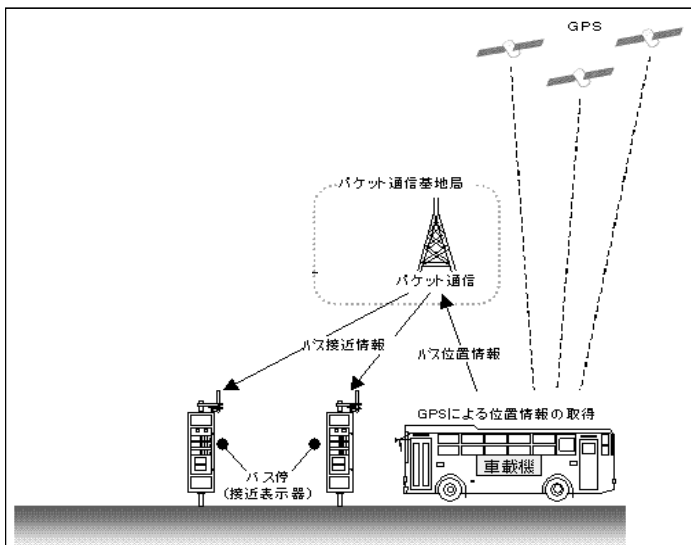
**1 施策（事業）の目的（ねらい）**

福山市生活バス交通利用促進計画に基づき、市民に利用しやすいバス路線網を構築し、市民生活を支える移動手段の維持・確保を図り、人・まち・環境にやさしいまちづくりをめざす福山市オムニバスタウン計画を推進します。

**2 取り組むこと**

**○バス接近表示システムの導入補助（16, 100千円）**

主要なバス停に設置する表示盤や携帯電話などからバスの運行位置を確認できるシステムを導入するバス事業者への支援を行います。



【バス接近表示システムの概念図】



【低床バス】

**○低床バスの導入補助（24, 300千円）**

だれもが安心・安全にバス利用ができる環境づくりのため、バス乗降口の段差をなくしたノンステップバスを導入するバス事業者への支援を行います。

導入予定台数：5 台（大型 1 台，中型 4 台）

**○ICバスカード車載機器の導入補助（1, 350千円）**

県内で利用されている ICバスカード（パスピー）の車載機器を導入するバス事業者への支援を行います。

導入予定台数：5 台



【ICバスカード】

**これまでの主な取組内容**

**〔2010 年度（平成 22 年度）〕**

- ・低床バスの導入補助 7 台(大型 1 台, 中型 6 台)
- ・東部地域フィーダー(支線)バス路線実証運行
- ・バス接近表示システム調査設計業務委託

**〔2011 年度（平成 23 年度）〕 (12 月末現在)**

- ・低床バスの導入補助 6 台(中型 6 台)
- ・東部地域フィーダー(支線)バス路線実証運行(9 月 30 日まで)

分野：活力 柱立て：地産地消の推進

経済環境局農林水産部地産地消推進課 農林水産課 保健福祉局保健部健康推進課 児童部保育課  
教育委員会学校教育部学校保健課 農業委員会事務局

施策（事業）名	<b>地産地消推進運動</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2009年度(平成21年度)～2013年度(平成25年度)	予算額 22,859千円 (再掲分 10,066千円含む)

1 施策（事業）の目的（ねらい）

市民への安心・安全な食の提供と市内の食料自給力の向上に向けた第一歩として、地産地消を推進します。農業の担い手の育成や産直市・生産者への支援などを行うとともに、学校給食等へ地場産農林水産物を積極的に使用します。また、地産地消推進運動の拡大を図るため、広域連携の視点を取り入れた取組を行います。

2 取り組むこと

○産直市への出荷農家に対する支援

- ・品揃えを確保するため周年栽培の支援を行い、安定生産と品質向上を図ります。
- ・産直市の新たな設置や登録会員の拡大を図ります。

○多様な担い手育成による生産拡大

- ・担い手や新規就農者の育成と確保を図るため、農機具・施設整備費の一部を支援し、自立を促進します。
- ・耕作放棄地の解消に努め、農地としての活用を推進します。（※再掲）

○消費者ニーズに応じた流通の多様化

- ・卸売市場の「地場産コーナー」を有効活用し、市場流通の拡大を図ります。
- ・地産地消推進のシンボルマーク・愛称「ふくやま生まれ」を活用して、小売店での販売を促進します。

○学校・保育所給食への地場産農林水産物の使用拡大

- ・地元農家等の少量野菜などへも対応できるブロック別献立を実施するとともに、生産者からの直接納入の拡大や給食業務に携わる職員の献立研究などを通じて、学校給食等への地場産農林水産物の使用拡大を進めます。
- ・児童へ地産地消の意義を理解させるとともに、「うずみ」など郷土の食文化を伝承します。

○地産地消の啓発活動

- ・「ふくやま地産地消の日」（毎月29日）などに市内各所で啓発チラシの配布を行うなど地産地消の啓発活動を行い、理解・関心を高めます。
- ・子ども・男性・高齢者などの料理教室、「食育の日」（毎月19日）などにおいて市内産の旬の食材を使用した料理の試食会などを実施します。

○広域連携の取組

- ・農商工連携や6次産業化※、販路拡大に向け、広域連携の視点を取り入れた情報交換の場を提供します。

※6次産業化…農林水産業(1次産業), 製造業(2次産業), 小売業(3次産業)の事業の融合を図る取組

- ・「ふくやま卸売市場ふれあい祭」などのイベントにおいて、市内産を始め、近隣市町産農林水産物をPRすることで、地域内流通の促進を図ります。

**これまでの主な取組内容**

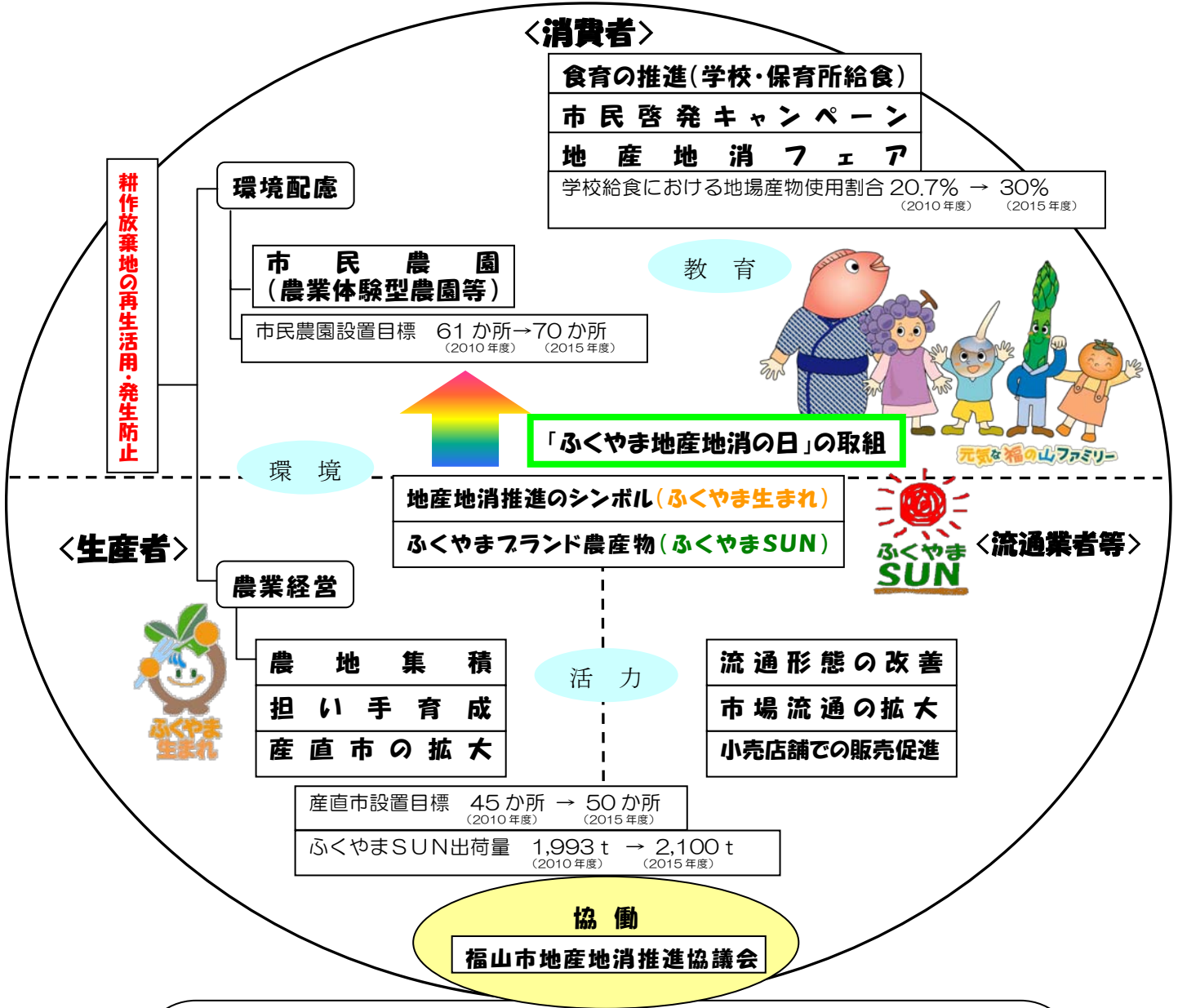
〔2010年度（平成22年度）〕

- ・市制施行記念日、学校給食「地場産物100%給食の日」、保育所給食「1食材でも多く地元産物を食べよう！」の取組
- ・地産地消モデル地区を2地区設定(市原地区、芦浦地区)・「福山市内産 産直市マップ」の作成

〔2011年度（平成23年度）〕(12月末現在)

- ・学校等への農業者からの農産物直接納入が市内全域に拡大
- ・毎月29日を「ふくやま地産地消の日」に設定し、啓発活動を実施
- ・啓発リーフレットを保育所、幼稚園、小・中学校の児童・生徒へ配布、各自治会での回覧
- ・公民館・小学校での地産地消啓発講座や授業の実施
- ・福山発の食ブランド「福山うずみごはん」の普及と市内産農林水産物の利用拡大を図るため「うずみ食材カレンダー・福山うずみごはんレシピ集」を作成

# 「福山発！地産地消」推進運動の展開 (地SUN地SHOW)



## 〈行政支援〉

- 耕作放棄地対策事業
- 農業生産基盤の条件整備
- 農業担い手の育成確保
  - ・中核的農業者の育成
  - ・集落法人の組織化
  - ・多様な担い手の育成
  - ・農地のあっせん制度
- 地産地消モデル地区
- ふくやまSUNの生産と消費の拡大
- ふくやま生まれの生産と消費の拡大
- 産直市生産拡大の支援
- 学校・保育所給食への市内産農林水産物使用拡大
- 学校給食地産地消推進ネットワーク
- 地産地消推進運動の啓発活動展開
- 「ふくやま地産地消の日」の取組
- 広域連携・農商工連携の取組

※ふくやま生まれ：市内産農林水産物及びその加工食品の「シンボルマークと愛称」を公募により制定

※ふくやまSUN：ふくやまブランド農産物の愛称として定着

施策（事業）名	<b>耕作放棄地対策事業(※再掲)</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2009 年度(平成 21 年度)～2013 年度(平成 25 年度)	予算額 10,066 千円

**1 施策（事業）の目的（ねらい）**

耕作放棄地の再生・発生防止を図り，食料供給を始め，水源涵養，洪水防止，景観形成など，農地の持つ多面的機能を最大限に発揮させることにより，食料自給力を高め，豊かな自然景観に囲まれた安心・安全で快適な生活環境を確保します。

(※この事業は，2011年度(平成23年度)重点政策「耕作放棄地再生活用モデル地区支援事業」から施策(事業)名を変更しています。)

**2 取り組むこと**

**(1) 耕作放棄地再生活用モデル事業（7,000千円）**

地域団体やNPOなどが取り組む耕作放棄地の再生・活用事業を支援し，再び荒廃することのないよう農地としての利用を定着させます。

○補助対象者…モデル地区の指定を受けた協議会

○補助対象事業

- ・耕作放棄地再生事業…除草，障害物除去，深耕，水路・農道等の簡易改修 など
- ・耕作放棄地活用事業…営農再開，学校農園，体験農園，市民農園，景観作物の植栽 など



【耕作放棄地を再生活用して市民農園を開設(上戸手8地区)】

**(2) 耕作放棄地発生防止事業**

耕作放棄地や遊休農地を所有する農家等へ自走式草刈機を無償貸与するなど，良好な環境整備と農業生産基盤の維持・保全を推進します。また，農地の利用意向の聞き取りを行い，貸借候補地として新規就農者や担い手研修生等に紹介するなど，耕作放棄地の発生防止を図ります。

**(3) 農業体験型農園等設置推進事業（1,000千円）**

遊休農地を活用した農業体験農園などの施設整備（休憩所・農機具倉庫・駐車場・灌水施設等）にかかる負担を軽減することで，耕作放棄地の発生防止に加え，地域活性化を図ります。

○補助対象者…農業者（地権者も含む），法人，団体等

**(4) 耕作放棄地実態把握調査（2,066千円）**

耕作放棄地の実態を把握するための農業委員による農地利用状況調査を実施し，耕作放棄地の再生・活用を効率的に推進します。

※数値目標：耕作放棄地解消モデル地区指定数

13地区(2010年度(平成22年度))→30地区(2015年度(平成27年度))

※数値目標：市民農園設置数

61か所(2010年度(平成22年度))→70か所(2015年度(平成27年度))

**これまでの主な取組内容**

**[2010 年度（平成 22 年度）]**

- ・前年度モデル地区の指定を受けた8地区のうち，7地区の耕作放棄地解消協議会が実施する再生・活用事業の支援
- ・上戸手8(新市町戸手)・田尻西下(田尻町)・山野大原(山野町)・服部本郷(駅家町服部)・藤江新涯(藤江町)の5地区をモデル地区指定

**[2011 年度（平成 23 年度）] (12月末現在)**

- ・前年度までにモデル地区の指定を受けた13地区のうち，9地区の耕作放棄地解消協議会が実施する再生・活用事業の支援
- ・下加茂(加茂町)・寺迫(熊野町)・田島南(内海町)・東村(東村町)・三谷(神辺町)の5地区をモデル地区指定

施策（事業）名	里山里地の再生・保全事業	■ 新規 ・ □ 継続
計画期間	2012 年度(平成 24 年度)～	予算額 49,391 千円 (再掲分 10,066 千円含む)
<p><b>1 施策（事業）の目的（ねらい）</b></p> <p>里山里地は、古来より地域独自の歴史や文化をはぐくんでいます。しかし、現在では放置された森林や農地が増加し、イノシシなどによる鳥獣被害の拡大や伝統的な農山村地域の景観が失われるなど、里山里地の持つ良好な環境や生物多様性への寄与などの多様な機能が低下しています。</p> <p>農地・森林所有者，農林業者や地域団体などと地域外の市民，NPO，企業，大学，各種活動団体などとの協働により，里山里地の再生・保全に取り組み，農山村地域の活性化や水と緑の再生を図ります。</p>		
<p><b>2 取り組むこと</b></p> <p>(1) 里山里地モデル地域支援事業（18,000千円）</p> <p>3 地域を指定し，里山里地の再生・保全活動を支援します。</p> <p>○基本補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山林整備事業 里山の保全・再生に向けた大がかりな下刈り・枝払い・間伐など基盤整備を行います。</li> <li>・里山林管理事業 基盤整備後の里山の定期的な下刈り・枝払い・間伐などへの支援を行います。</li> <li>・水路・農道の改修，維持管理事業に必要な原材料費に対して支援を行います。</li> </ul> <p>○選択補助事業</p> <p>次のメニューから2事業以上を選択し，実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 耕作放棄地の再生活活用事業</li> <li>b 鳥獣被害対策事業</li> <li>c 野生動植物やその生息地の保全・管理事業</li> <li>d 里山里地の資源活用事業</li> <li>e 里山里地の魅力発信事業</li> <li>f その他，里山里地の再生保全に寄与する事業</li> </ul> <p>(2) 里山里地協力隊支援事業（350千円）</p> <p>モデル地区などと連携して，里山里地の再生・保全活動を行う里山里地協力隊<sup>*</sup>の活動を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料費など活動に係る経費や基礎的な技術研修などに係る経費</li> <li>・機械器具(草刈機，チェーンソー，ヘルメットなど)を整備し，協力隊へ貸出</li> </ul> <p><sup>*</sup>里山里地協力隊…モデル地域外の市民，NPO，企業，大学，各種活動団体などの多様な組織から会員を募集します。(個人または法人などでの登録制)</p> <p>(3) 里山里地保全協定事業</p> <p>企業がモデル地域などと協定を締結し，人的・資金的な支援を行います。</p> <p>(4) 有害鳥獣被害対策事業（20,975千円）</p> <p>○有害鳥獣捕獲・防除事業</p> <p>有害鳥獣捕獲班による捕獲と被害防止対策に関する講演会や講習会を実施します。</p> <p>○防護柵等設置事業費補助</p> <p>侵入防護柵や捕獲用箱わなを設置する団体などへの支援を行います。</p> <p>○有害鳥獣被害対策地域活動支援事業費補助</p> <p>地域ぐるみで有害鳥獣対策(箱わな，防護柵を除く)に取り組む自治会などの団体を支援します。</p> <p>(5) 耕作放棄地対策事業（※再掲）（10,066千円）</p>		



施策（事業）名	<b>買い物支援事業</b>	■ 新規 ・ □ 継続
計画期間	2012 年度(平成 24 年度)～	予算額 6,484 千円

### 1 施策（事業）の目的（ねらい）

少子化・高齢化や過疎化など社会情勢の変化に伴い、身近な商店や公共交通機関がなくなる地域が発生し、買い物などが困難になる高齢者の増加が懸念されています。このため、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、協働による支え合い活動を推進し、高齢者の日常生活を支援します。

### 2 取り組むこと

小学校区を単位として、地域の中から賛同の得られた住民で支援グループを結成し、一人暮らしや高齢者のみの世帯で外出が困難な方などの買い物を支援します。

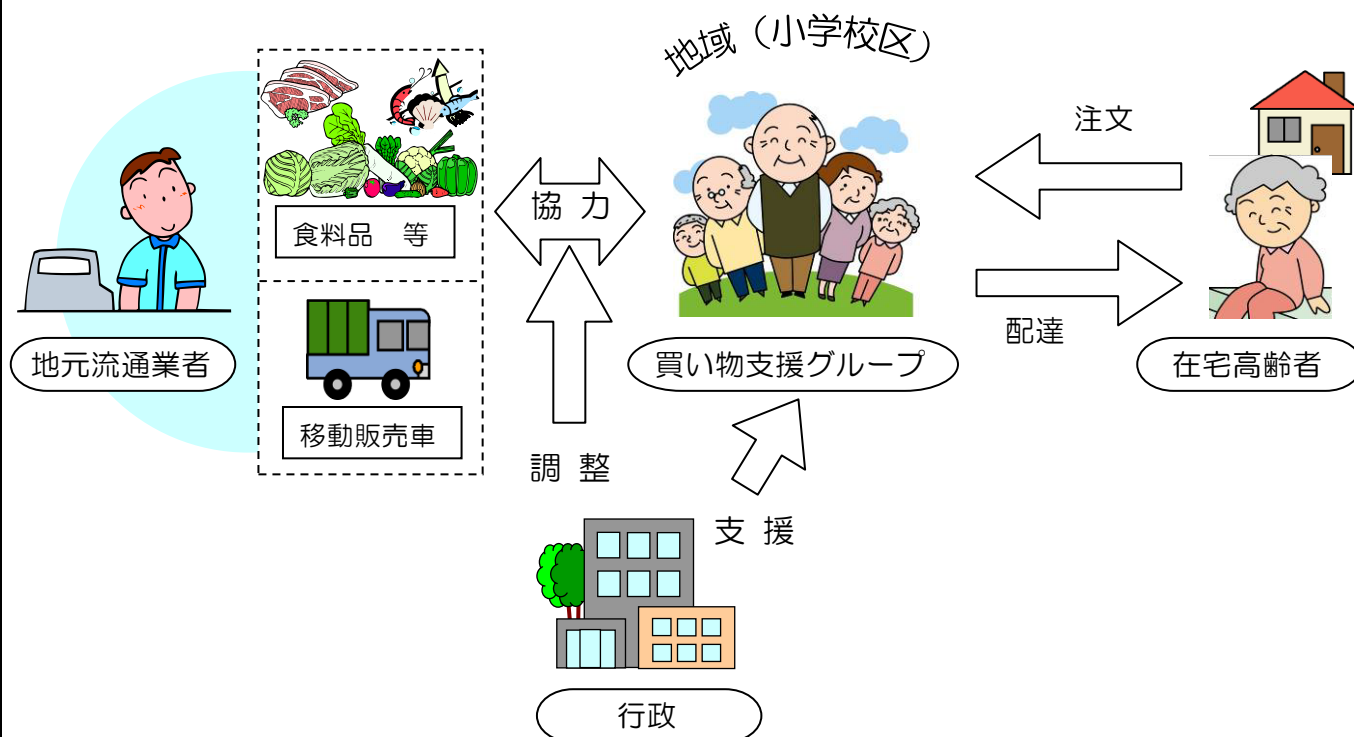
#### ○買い物支援事業

地域の実情に応じた自主的な取組ができるよう地域から提案のあった活動を支援します。

（事業例 1）日用品・食料品の注文と配達

（事業例 2）地域巡回型の移動販売車による日用品・食料品の提供

#### 【事業のイメージ】



施策（事業）名	青少年自立支援事業	■ 新規 ・ □ 継続
計画期間	2007 年度(平成 19 年度)～	予算 9 3 5 千円

1 施策（事業）の目的（ねらい）

自宅に引きこもりがちな状態にあるなど社会との関係が希薄な青少年(概ね 15 歳から 40 歳未満)を対象に、ボランティア活動を始めとする社会活動や企業等での職場体験を通じて、社会活動への参加を促します。

2 取り組むこと

○青少年自立支援事業

- ・社会体験活動プログラム

創作活動，ボランティア活動，職場体験活動を実施します。

(実施期間) 2012 年(平成 24 年) 6 月～2013 年(平成 25 年) 2 月 35 回程度

- ・就労支援プログラム

社会体験活動プログラムを通じて集団活動にも慣れ，自信を取り戻し，就労意欲も出始めた青少年に対し，就職する前段階として，1 日から 2 週間の職場体験を実施します。

(協力企業) 14 社 (2012 年(平成 24 年) 1 月現在)



プログラム参加者の声

参加者みんなの企画で行ったボウリングが楽しかったです。他にも動物園での飼育体験や模擬店で活動ができて良かったと思います。



今，私は「ホームヘルパー」の資格取得に向かって頑張っています。ヘルパーの資格がもらえるのはうれしいです。最初は，目標なんかはありませんでした。だけど，社会活動をしていく中で，私は『ヘルパーさんになりたい自分』に出会いました。今は，夢に向けて頑張っています。もうすぐ実現します。

これまでの主な取組内容

〔2010 年度(平成 22 年度)〕

- ・参加者:20 名 (社会体験活動プログラム 27 回)
- ・成果:就労開始 3 名, 進学 3 名, 資格取得 2 名

〔2011 年度(平成 23 年度)〕 (12 月末現在)

- ・参加者:23 名 (社会体験活動プログラム 35 回)(就労支援プログラム)
- ・成果:就労開始 1 名, 短期就労 2 名, 復学 1 名, 就労体験延べ 14 名

施策（事業）名	生活保護受給者の自立支援	■ 新規 ・ □ 継続
計画期間	2012 年度(平成 24 年度)～	予算額 14,566千円

1 施策（事業）の目的（ねらい）

厳しい経済情勢の中、生活保護を受給する世帯は増加傾向にあります。  
生活保護業務の適正実施を図るとともに、働く意欲や能力がある生活困窮者などの経済的な自立に向けた取組や、子どもへの貧困の連鎖を防止するため、被保護世帯の自立支援を推進します。

2 取り組むこと

○就労支援事業（6,787千円）

失業などによる生活保護受給者の増加に対し、より細やかな支援を行うため、就労相談専門員を配置するとともにハローワークと連携して職業紹介や就職活動の支援など、就労自立に向けた取組を強化します。



【就労相談員による就労相談】

○子どもの健全育成支援事業（7,779千円）

家庭・教育支援員、家庭訪問員を配置し、中学校2・3年生の高校進学に向けて支援を行うなど被保護世帯の子どもの健全育成を図ります。



【学習支援の様子】

これまでの主な取組内容

〔2010 年度（平成 22 年度）〕

- ・就労支援事業を県費補助事業、教育等支援事業を国庫補助事業により個別実施

〔2011 年度（平成 23 年度）〕（12 月末現在）

- ・就労支援事業：就労相談専門員を3名に増員
- ・教育等支援事業：家庭訪問員を配置

施策（事業）名	<b>(仮称)こども発達支援センター整備事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2009 年度(平成 21 年度)～	予算額 64,321千円

### 1 施策（事業）の目的（ねらい）

発達に課題があることにより支援を必要とする児童が増加傾向にある中、県東部には発達障がいに関する総合的な専門機関がなく、早期の体制整備が求められています。

子どもたちが健やかに成長し、子どもとその家族が地域で安心して暮らすことができるよう、相談・診療・発達支援などの機能を併せ持った支援拠点施設として「(仮称)こども発達支援センター」を整備し、発達障がい又はその疑いのある就学前の児童を主な対象として、専門的診断に基づいた適切な支援を行います。

### 2 取り組むこと

#### ○ (仮称)こども発達支援センター開設事業（8,974千円）

保健・福祉・医療機関が集積するゾーンにある福山市保健センター内に（仮称）こども発達支援センターを整備します。

#### ○ (仮称)こども発達支援センター運営事業（55,347千円）

(1) 「(仮称)療育センター整備基本構想」や「(仮称)こども発達支援センター整備基本計画」に基づき、各部門に専門的人材を配置し、相談・医療・支援ニーズに対応します。

(2) 関係機関と連携する中で支援ネットワークを構築し、途切れのない支援をめざします。

(3) 広島県東部や岡山県西部の近隣市町（尾道市、三原市、府中市、神石高原町、世羅町、笠岡市、井原市）と連携し、広域にわたる支援拠点施設として事業展開（共同運営）を行います。

#### (仮称)こども発達支援センターの機能

- 相談・コーディネート
- 医療・検査・訓練
- 発達支援
- 地域支援



【(仮称)こども発達支援センター整備予定場所  
(福山市保健センター)】

### これまでの主な取組内容

#### 〔2010 年度（平成 22 年度）〕

- ・「(仮称)こども発達支援センター整備準備委員会」を設置し、管理運営体制のあり方などを協議(5 回開催)
- ・2011 年(平成 23 年)3 月「(仮称)こども発達支援センター整備基本計画」を策定

#### 〔2011 年度（平成 23 年度）〕 (12 月末現在)

- ・関係市町連絡会議の開催(3 回開催)
- ・関係課における連絡会議(10 回開催)
- ・改修工事に着手

施策（事業）名	<b>病院施設整備事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2008 年度(平成 20 年度)～2013 年度(平成 25 年度)	予算額 7, 319, 000 千円

### 1 施策（事業）の目的（ねらい）

急性期医療とがん医療を中心に高度で良質な医療を提供する病院として、病棟の増床や外来化学療法室、内視鏡室などの病院施設整備に取り組み、地域における中核病院としての機能の充実に図ります。

### 2 取り組むこと

#### ○病院増築事業 （7, 023, 000千円）

市民病院の機能充実に向け、病棟や外来化学療法室、内視鏡室、手術室、外来診察室などの増築工事を実施します。

- ・ 外来診察室の増設、化学療法室、内視鏡室の移転拡充
- ・ 手術室の増設、院内 I C U ・ H C U の設置
- ・ 病棟の増築



【完成予想図】

#### ○立体駐車場整備事業 （296, 000千円）

駐車スペースを確保するため、立体駐車場を整備します。

- ・ 駐車台数 約 330 台（内、I 期工事分 約 150 台）

#### これまでの主な取組内容

〔2010 年度（平成 22 年度）〕

- ・ 増築工事の実施設計の完了

〔2011 年度（平成 23 年度）〕（12 月末現在）

- ・ 増築工事实施中

施策（事業）名	<b>(仮称)救急支援診療所整備事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2010年度(平成22年度)～2013年度(平成25年度)	予算額 608,555千円

**1 施策（事業）の目的（ねらい）**

夜間に急な発熱や痛みなどで、体調が変化した場合、現状では二次救急病院<sup>\*</sup>での受診、または、かかりつけの医療機関の開院時間まで待たなければならない状況にあります。このため、二次救急病院に多数の初期救急患者<sup>\*\*</sup>が受診し、二次救急病院の負担が増加しています。こうした現状を解決し、市民に安心・安全な医療を提供できるよう、夜間の救急医療体制の充実に努めます。

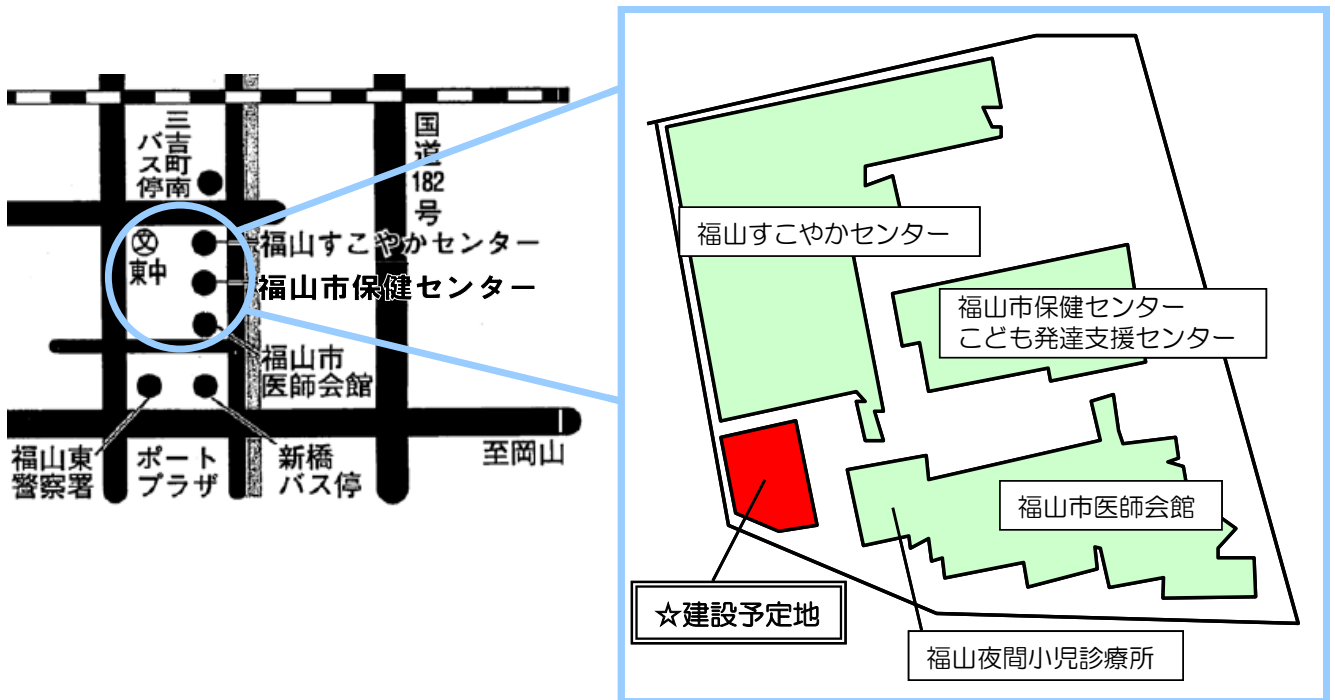
※初期救急患者…比較的軽症で入院や手術の必要がない患者

二次救急病院…入院や手術が必要な重症患者を受け入れる病院

**2 取り組むこと**

「(仮称)福山・府中地域救急支援診療所整備事業に係る連絡調整会議」で整備内容について検討し、2012年度(平成24年度)末までに「(仮称)福山・府中地域救急支援診療所」を新設します。

- ・名称 (仮称)福山・府中地域救急支援診療所
- ・対象 一般(成人)
- ・場所 福山市三吉町南二丁目地内
- ・構造 鉄骨造3階建



**これまでの主な取組内容**

〔2010年度(平成22年度)〕

- ・4 医師会の代表者、県、消防局で構成する「(仮称)福山・府中地域救急支援診療所整備事業に係る連絡調整会議」を設置し、毎月1回程度開催し、事業内容、運営手法等について協議を行った。

〔2011年度(平成23年度)〕(12月末現在)

- ・調整会議において、診療所の設置場所を三吉町南二丁目の福山夜間小児診療所の西隣にすることとし、その整備内容について検討を行った。

施策（事業）名	消防・救急体制の整備	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2005 年度(平成 17 年度)～	予算額 337,924 千円
<p><b>1 施策（事業）の目的（ねらい）</b></p> <p>複雑多様化する各種災害に適切に対応し、地域住民の安心・安全を確保するため、防災拠点としての機能を十分に発揮できるように北消防署と南消防署輜出張所の庁舎改築を行います。</p> <p><b>2 取り組むこと</b></p> <p>○北消防署庁舎改築事業（262,724 千円）</p> <p>中心市街地を管轄する防災拠点として、2013 年度（平成 25 年度）中の新庁舎での業務開始に向け、建設工事に着手します。</p> <p>事業期間：2011 年度（平成 23 年度）～2013 年度（平成 25 年度）</p> <p>○●南消防署輜出張所改築事業（75,200 千円）</p> <p>輜地区を中心とした市南部を管轄する防災拠点として、2014 年度（平成 26 年度）中の新庁舎での業務開始に向け、用地取得や実施設計などに取り組みます。</p> <p>事業期間：2012 年度（平成 24 年度）～2014 年度（平成 26 年度）</p>		
<p><b>これまでの主な取組内容</b></p> <p>[2010 年度（平成 22 年度）]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芦品消防署改築事業完了</li> <li>・北消防署駅家分署 はしご付消防ポンプ自動車整備</li> </ul> <p>[2011 年度（平成 23 年度）]（12 月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北消防署改築事業 実施設計</li> <li>・住宅用火災警報器の早期設置に向けた周知・啓発</li> </ul>		

施策（事業）名	水道施設の耐震化事業	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2007 年度（平成 19 年度）～	予算額 37,050 千円

### 1 施策（事業）の目的（ねらい）

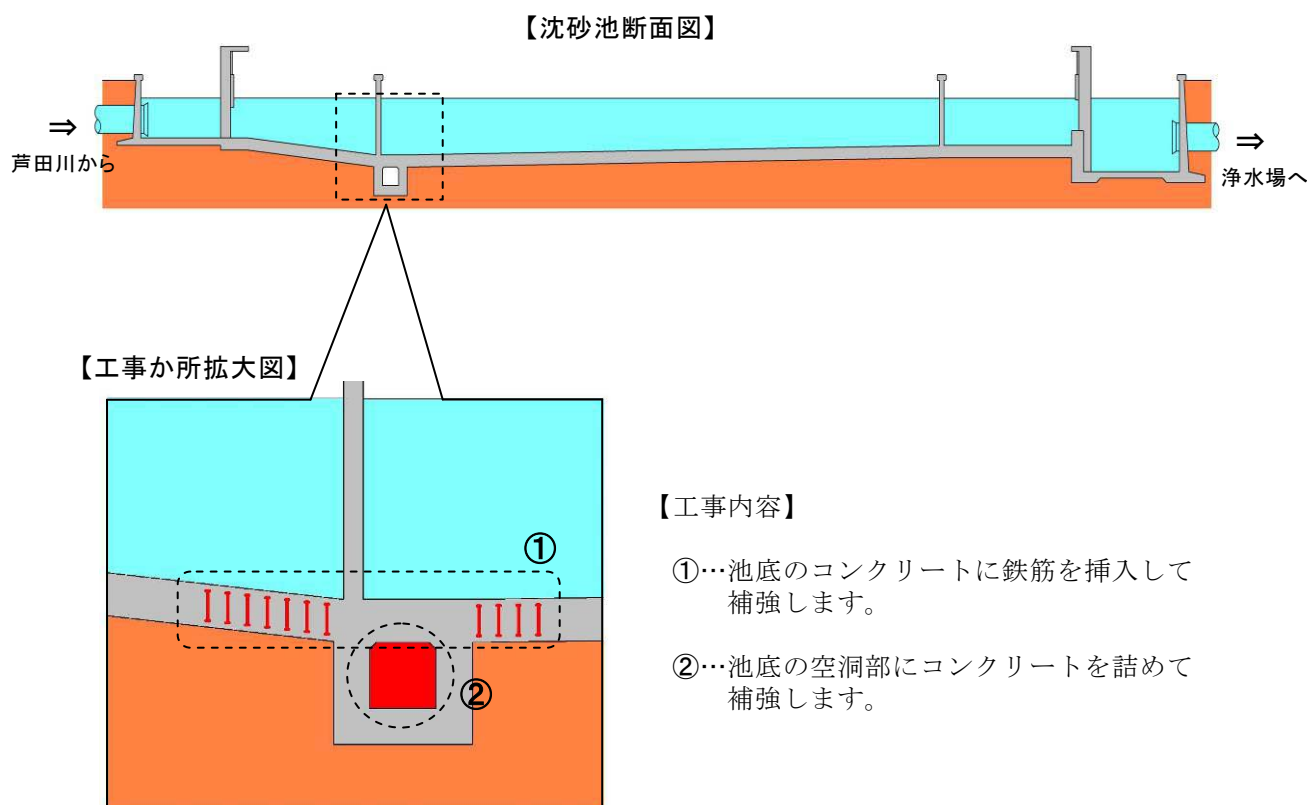
地震などの災害によって水道の機能が停止した場合、市民生活や社会経済活動に与える影響は甚大なものとなります。このため、災害発生時の被害を最小限に抑えるため、水道施設の耐震化・耐震補強を計画的に進め、災害に強い施設整備に取り組みます。

### 2 取り組むこと

#### ○沈砂池耐震補強工事

2012 年度（平成 24 年度）は、中津原浄水場の取水施設（沈砂池※）の耐震補強工事を行います。

※沈砂池（ちんさち）…川から取り入れた水（原水）の中の土や砂などを沈めて取り除く施設



#### これまでの主な取組内容

##### 〔2010 年度（平成 22 年度）〕

- ・木之庄配水池耐震補強工事，基幹管路の布設替（久松台ほか）

##### 〔2011 年度（平成 23 年度）〕（12 月末現在）

- ・木之庄配水池耐震補強工事



施策（事業）名	下水道施設の耐震化事業	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2009年度（平成21年度）～2013年度（平成25年度）	予算額 191,400千円

### 1 施策（事業）の目的（ねらい）

地震による下水道の機能の停止によって市民生活や社会経済活動へ与える影響を最小限に抑えるため、下水道地震対策緊急整備計画に基づき、防災拠点（市役所本庁舎）や広域避難場所（東桜町緑地、福山城公園、中央公園、緑町公園、竹ヶ端運動公園、駅家公園）から流域下水道幹線までの下水道施設の耐震化に取り組みます。

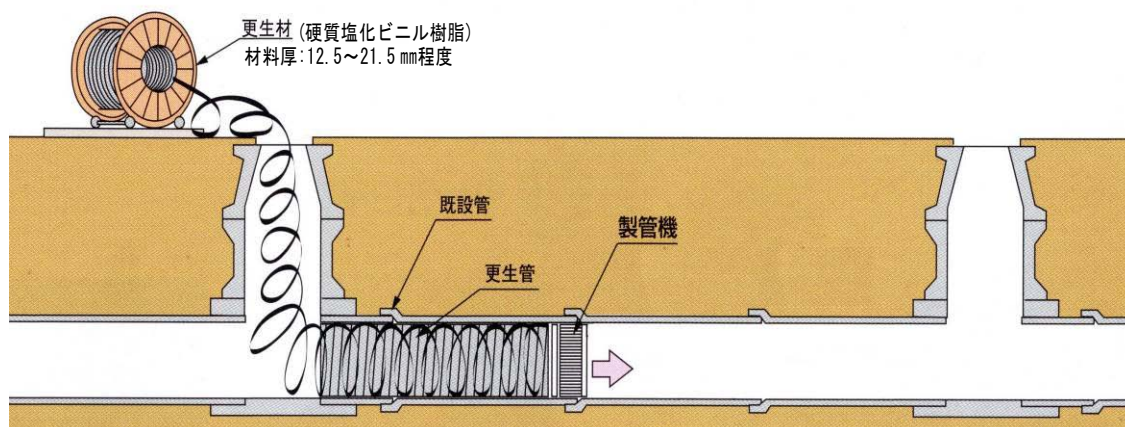
### 2 取り組むこと

市役所本庁舎、東桜町緑地、竹ヶ端運動公園、駅家公園から流域下水道幹線までの管渠の耐震化対策として、

- ・管渠の接続部の離脱やマンホールからの抜け出し
  - ・液状化によるマンホールの道路面からの浮き上がり
- を防止する工事を行います。

- ・対策延長：約 1,180m

※数値目標：耐震化した管渠の延長 2013年度（平成25年度）末 4,500m



【管渠の接続部が離脱することを防止する工事のイメージ】  
（既設管渠の中に、地震に強い管を新しく造る）

#### これまでの主な取組内容

##### 〔2010年度（平成22年度）〕

- ・市役所本庁舎及び東桜町緑地から流域下水道幹線までのうち 276m、緑町公園から流域下水道幹線までのうち 672m、福山城公園から流域下水道幹線までのうち 313m、合計で 1,261m の耐震化を実施

##### 〔2011年度（平成23年度）〕（12月末現在）

- ・緑町公園から流域下水道幹線までのうち 735m の耐震化を実施中

施策（事業）名	小・中学校の耐震補強等整備事業	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2006 年度(平成 18 年度)～	予算額 1, 137, 700 千円

### 1 施策（事業）の目的（ねらい）

屋内運動場は老朽化が進んでいることから、教育環境の充実や地震などの非常災害時に児童生徒の生命を守るとともに、地域住民の緊急避難場所としての役割が果たせるよう、耐震補強を加えた整備を行います。また、校舎についても、安心・安全な学校づくりの視点から、耐震補強を加えた整備を行います。

### 2 取り組むこと

#### ○屋内運動場整備事業（281,000千円）

- ・中学校屋内運動場整備  
改築工事 1校（城東中）

※参考：前倒しで2011年度(平成23年度)に  
予算措置をしたもの

- ・小学校屋内運動場 耐震補強改修工事 3校  
（宜山小，常石小，山南小）
- ・中学校屋内運動場 耐震補強改修工事 2校  
（駅家中，新市中央中）



【校舎耐震補強工事(2011年度(平成23年度)実施箇所)】

#### ○校舎改修事業（856,700千円）

- ・小学校校舎改修  
耐震補強改修工事 3棟  
（深津小北棟，泉小北棟，曙小北棟）  
耐震補強改修設計 5棟，二次診断 25棟
- ・中学校校舎改修  
耐震補強改修工事 1棟（城南中北棟）  
耐震補強改修設計 1棟，二次診断 19棟
- ・福山中学校・高等学校校舎改修  
二次診断 3棟

#### これまでの主な取組内容

##### 〔2010年度（平成22年度）〕

- ・耐震補強改修設計：屋内運動場(小学校5校，中学校2校)
- ・耐震補強改修設計など：校舎(小学校23棟，中学校16棟)
- ・耐震補強改修工事：屋内運動場(小学校5校，中学校2校)，校舎(小学校2棟，中学校3棟)

##### 〔2011年度（平成23年度）〕(12月末現在)

- ・耐震補強改修設計：屋内運動場(小学校2校，中学校1校)実施中
- ・耐震補強改修設計など：校舎(小学校69棟，中学校15棟)実施中
- ・耐震補強改修工事：屋内運動場(小学校5校，中学校3校)，校舎(小学校1棟，中学校1棟)実施中

施策（事業）名	橋りょう長寿命化事業	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2009 年度(平成 21 年度)～	予算額 74,000千円

### 1 施策（事業）の目的（ねらい）

市内の橋りょうは、高度成長期に建設されたものが多く、今後、老朽化する橋りょうが増大することが予測されます。橋りょうの長寿命化修繕計画を策定し、予防的な修繕や計画的な架け替えに取り組むことにより、橋りょうの長寿命化や費用の縮減を図りながら、道路網の安全性・信頼性を確保します。

### 2 取り組むこと

市が管理する橋りょう約 3,100 橋のうち、2010 年度（平成 22 年度）に策定した橋りょう長寿命化修繕計画（580 橋）の中で、早期修繕・更新が必要と判断された橋りょうについて、設計や修繕を行います。（調査・設計 10 橋、補修 5 橋）

また、2011 年度（平成 23 年度）までに点検の完了した約 2,520 橋を含め、2012 年度（平成 24 年度）までに、市が管理するすべての橋りょう（約 3,100 橋）について長寿命化修繕計画を策定します。



【修繕前】



【修繕後】

#### これまでの主な取組内容

##### 〔2010 年度（平成 22 年度）〕

- ・橋りょう長寿命化修繕計画(580 橋)の策定
- ・重要橋りょう(橋長 15m以上)の橋りょう点検(175 橋)業務委託, 職員による橋りょう点検 1,200 橋

##### 〔2011 年度（平成 23 年度）〕 (12 月末現在)

- ・橋りょう長寿命化修繕計画(580 橋)により, 5 橋の詳細調査・設計の業務発注
- ・職員による橋りょう点検(1,120 橋)実施中

施策（事業）名	<b>出原浄水場更新事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2010年度(平成22年度)～2015年度(平成27年度)	予算額 769,599千円

### 1 施策（事業）の目的（ねらい）

1959年（昭和34年）の給水開始以来50年が経過し浄水場全体の老朽化が著しいこと、水源である地下水にマンガンが多く含まれること、洪水による水没の危険性があることから、6か年計画で施設の更新を行います。

浄水場全体を更新し、浄水処理方法を緩速ろ過方式から急速ろ過方式（除マンガン接触ろ過方式）に変更するとともに、施設の耐震化と洪水対策を行い、安心・安全な給水を確保します。

### 2 取り組むこと

#### （1）管理棟築造工事（158,205千円）

2011年度(平成23年度)から行っている工事を、引き続き2012年度(平成24年度)も行います。

#### （2）急速ろ過池機械設備工事（140,000千円）

2012年度(平成24年度)と2013年度(平成25年度)で、急速ろ過池の機械・電気設備の工事を行います。

#### （3）導水管布設及び布設替工事（150,000千円）

2012年度(平成24年度)と2013年度(平成25年度)で、口径300mm～500mmの導水管<sup>※1</sup>の布設工事を行います。

#### （4）送水ポンプ設置工事（81,594千円）

2012年度(平成24年度)と2013年度(平成25年度)で、送水ポンプ（6.7m<sup>3</sup>/分 揚程50m 出力90kW）を4台設置します。

#### （5）送水管布設工事（239,800千円）

2012年度(平成24年度)と2013年度(平成25年度)で、口径700mmの送水管<sup>※2</sup>の布設工事を行います。

※1 導水管 …河川・井戸から取水した水を浄水場内に導く管のこと。

※2 送水管 …浄水場から配水池へ送る管のこと。



【出原浄水場完成予想図】

#### これまでの主な取組内容

##### 〔2010年度（平成22年度）〕

・急速ろ過池築造工事，管理棟設計委託，送水管設計委託，導水管設計委託

##### 〔2011年度（平成23年度）〕（12月末現在）

・急速ろ過池築造工事，管理棟築造工事

施策（事業）名	<b>歩道・自転車走行空間整備事業</b>	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2002年度(平成14年度)～2020年度(平成32年度)	予算額 185,000千円

### 1 施策（事業）の目的（ねらい）

交通環境が変化する中、快適な歩行空間確保のため、子どもや高齢者、障がいのある人などに配慮した安全性の高い歩道整備に計画的に取り組みます。

また、近年、自転車は環境や健康の観点から利用ニーズが高まっていますが、自転車と歩行者の事故は増加しています。今後、福山都市圏自転車走行空間整備計画に基づき、福山駅を中心とした半径約5kmの圏域を、自転車もより安心・安全に通行できるよう整備します。



【社会実験前】



【福山駅箕島線】

【社会実験中の様子】

### 2 取り組むこと

#### (1) 福山都市圏自転車走行空間整備事業（100,000千円）

・福山駅手城線 ・北吉津曙線 ・伏見旭町1号線 ・地吹大渡線

数値目標：

指標①：自転車交通量（自転車の利用）

2009年（平成21年）→2019年（平成31年） 1.3倍

〔中間年(2014年（平成26年）)目標：1.1倍〕

指標②：自転車事故率（事故件数÷自転車交通量）

2009年（平成21年）→2019年（平成31年） 0.8倍

〔中間年(2014年（平成26年）)目標：0.9倍〕

#### (2) 交通安全施設整備事業

○東福山地区（55,000千円）

・手城三吉線（L=30m），手城蔵王線（L=60m），停車場裏古地線（L=50m），  
停車場宅部線（測量）

○福山駅周辺地区（30,000千円）

・草戸松浜線（L=50m），御船三吉1号線（L=90m）

#### これまでの主な取組内容

〔2010年度（平成22年度）〕

- ・東福山地区(手城三吉線, 手城蔵王線, 停車場裏古地線)工事
- ・福山駅周辺地区(草戸松浜線, 御船三吉1号線)工事

〔2011年度（平成23年度）〕（12月末現在）

- ・東福山地区(手城三吉線, 手城蔵王線, 停車場裏古地線)工事
- ・福山駅周辺地区(草戸松浜線, 御船三吉1号線)工事
- ・自転車走行空間整備社会実験(福山駅箕島線)

施策（事業）名	交通施設バリアフリー設備整備事業	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2005 年度(平成 17 年度)～平成 20 年代半ば	予算額 162,000 千円

1 施策（事業）の目的（ねらい）

高齢者や障がいのある人などすべての鉄道利用者がより円滑に駅を利用することができるよう、駅舎などのバリアフリー化を推進します。

2 取り組むこと

JR 松永駅に、南北それぞれ歩道から橋上駅の自由通路を結ぶエレベーターを設置します。



【松永駅(南側)】



【松永駅(北側)】

エレベーター設置予定箇所

これまでの主な取組内容

〔2010 年度（平成 22 年度）〕

- ・交通施設バリアフリー化設備整備費補助  
（JR松永駅・東福山駅在来線ホーム用エレベーター各 2 基設置）

〔2011 年度（平成 23 年度）〕（12 月末現在）

- ・JR松永駅・東福山駅エレベーター整備実施設計

施策（事業）名	LED防犯灯整備事業（※再掲）	□ 新規 ・ ■ 継続
計画期間	2011年度(平成23年度)～2013年度(平成25年度)	予算額 192,000千円

1 施策（事業）の目的（ねらい）

地域の安心・安全のために自治会などが設置・維持管理している防犯灯を省エネで長寿命が特長であるLED灯にすべて切り替えることにより、発電する際に発生する温室効果ガス（二酸化炭素）を抑制するとともに、維持管理に係る経費の削減を図ります。

引き続き、市民との役割分担をする中で、地球温暖化対策と地域の夜間通行の安心・安全を推進します。

2 取り組むこと

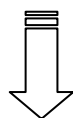
市内に設置している20W蛍光灯の防犯灯を3年間で、すべてLED灯の防犯灯に切り替えます。

- ・エネルギーの効率的な利用を促進します。
- ・すべての防犯灯を更新することで、より一層地域の夜間通行の安心・安全を確保します。

**3年間で切り替える防犯灯の数 約32,000灯**

◎蛍光灯の使用による1灯あたりの年間発生CO<sub>2</sub>排出量は  
⇒ 50.42kg

◎LED灯の使用による1灯あたりの年間発生CO<sub>2</sub>排出量は



22.46kg



**1年間で削減できる**

**1灯あたりのCO<sub>2</sub>排出量 27.96kg**

**2014年度(平成26年度)には、  
市内の防犯灯の全部で・・・**

**およそ900トン削減(1年間)**

[2009年度(平成21年度)電気事業者別実排出係数により算出

(2010年(平成22年)12月環境省発表値)]

**これまでの主な取組内容**

[2010年度(平成22年度)]

- ・自治会等別防犯灯実態調査(市内全域)

[2011年度(平成23年度)](12月末現在)

- ・設置灯数 7,400灯